

業績目録 (学会関連)

■2024年■

武井 雄一: マクロ経済から見た自殺の因果分析. 第37回総合病院精神医学会学術総会, 熊本, 2024.11.30.

Takefumi Ohki, Yuichi Takei: Multivariate sharp-wave ripples in Schizophrenia during resting state. NEURO2024, 福岡, 2024.7.24.

武井雄一, 大城武史, 須永匡一, 加藤隆, 須藤友博, 大井麗子, 福田正人: MEGによる統合失調症のリップル波と安静時ネットワークの研究. 第26回日本薬物脳波学会, 京都, 2024.7.20.

武井 雄一, 大城 武史, 須永 匡一, 加藤 隆, 田川 みなみ, 須藤 友博, 大井 麗子, 福田 正人: MEGを用いたリップル波解析による 統合失調症安静時神経活動研究. 第120回日本精神神経学会学術総会, 札幌, 2024.6.22

武井雄一、大城武史、須永匡一、加藤隆、田川みなみ、須藤友博、大井麗子、福田正人: MEGを用いた統合失調症安静時神経活動研究. 第18回日本統合失調症学会, 徳島, 2024,4.13.

■2023 年■

武井雄一、大城武史、須永匡一、加藤隆、田川みなみ、須藤友博、大井麗子、福田正人: MEGによるグラフ理論解析とリップル波解析を活用した統合失調症の安静時神経活動研究, 第53回日本臨床神経生理学会学術大会, 福岡, 2023.11.30.

武井 雄一, 須永 匡一, 加藤 隆, 田川 みなみ, 須藤 友博, 福田 正人: MEGを用いた統合失調症および双極性障害における安静時ネットワークのグラフ理論. 第119回日本精神神経学会学術総会, 横浜, 2023. 6.23.

Yuichi Takei, Masakazu Sunaga, Yutaka Kato, Reiko Oi, Minami Tagawa, Tomohiro Suto, Noriko Sakurai, Masato Fukuda: Oscillatory resting state graph in schizophrenia and bipolar disorder. OHBM2023, カナダ, 2023.7. 25.

Yutaka Kato, Yuichi Takei, Reiko Oi, Satoshi Umeda, Masaru Mimura, Masato Fukuda: Network analysis for Emotion Causality: an MEG study. OHBM2023, カナダ, 2023.7. 25.

Masakazu Sunaga, Yuichi Takei, Yutaka Kato, Minami Tagawa, Tomohiro Suto, Kazuyuki Fujihara, Noriko Sakurai, Masato Fukuda: The frequency-specific resting connectome in bipolar disorder: an MEG study. OHBM2023, カナダ, 2023.7. 25.

Reiko Oi, Yuichi Takei, Yutaka Kato, Masashi Suda, Masato Fukuda: An MEG study of Neural Mechanism relating to the Intolerance of Uncertainty using the Flanker Task. OHBM2023, カナダ, 2023.7. 25.

笠井清登, 山岸美香, 里村嘉弘, 櫻田華子, 金原明子, 榊原英輔, 岡田直大, 小池進介, 柳下祥, 市橋香代, 近藤伸介, 神出誠一郎, 福田正人: 後方視的診療録調査用・小児逆境の出来事／体験評価尺度 (Retrospective chart review-based assessment scale for advers childhood events and experiences; RC-ACEE 尺度) の作成と検証. 第17回日本統合失調症学会, オンライン, 2023.3.26.

■2022年■

福田正人：「自分事」としてのユースメンタルヘルス。2022年度医理工 GFL 企画 先端研究学際講演会。群馬大学，2022.12.7.

福田正人：うつ病の基礎知識。令和4年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会。前橋，2022.11.27.

福田正人：精神科医として考えていること（分科会⑨：10代からのメンタルヘルス—高校でスタートした精神疾患についての教育）。リカバリー全国フォーラム2022，オンライン，2022.10.30.

佐々木夢佳，須田真史，野村隆則，小野樹郎，福田正人：入院中に特別支援学校に転校したことで治療に役立てられた神経性やせ症の高校生の一例—入院中の高校生に対する学習支援の意義と課題。第63回日本児童青年期精神医学会，松本，2022.11.10～21.

武井雄一，須永匡一，加藤隆，大井麗子，田川みなみ，須藤友博，櫻井敬子，福田正人：統合失調症と双極性障害を対象とした脳磁図による安静時神経ネットワークグラフの検討。4学会合同年会（生物学的精神医学・神経精神薬理学・臨床精神神経薬理学・精神薬理学），東京，2022.11.4.

井上真紀，高橋由美子，島名梨沙，田中亜由子，森田晶人，佐藤達也，日下田大輔，福田正人，岩瀬明：妊産婦さんのメンタルヘルスに耳を傾けるために—妊婦検診から多職種サポート体制まで（市民公開シンポジウム）。第18回日本周産期メンタルヘルス学会，前橋，2022.10.22～23.

須永匡一，武井雄一，加藤隆，大井麗子，田川みなみ，須藤友博，福田正人：脳磁図による双極性障害の安静時ネットワークの検討。第46回群馬精神医学会，前橋，2022.10.8.

菊地麻美，池田佳生，小松康宏，徳江豊，中村哲也，福田正人，浅尾高行，大山良雄，斉藤勇一郎，村上正巳：群馬大学医学部附属病院における初期臨床 SES 研修の取り組み—診療領域・職種横断的なチーム活動への参加と研修評価。第54回日本医学教育学会大会，高崎，2022.8.5.

福田正人：生徒のメンタルヘルスを支える学校教育—「こころの健康社会」に向けて。群馬県教育委員会・群馬県学校保健会 令和4年度 健康教育実践講座，オンライン，2022.7.28.

福田正人：統合失調症のために取り組みたいこと． Personal Recovery Conference，大阪・オンライン，2022.7.12.

福田正人：指定発言－大学病院から見た精神科入院医療（シンポジウム 23：曲がり角に立つ精神科入院医療－マクロ状況と精神科臨床から）．第 118 回 日本精神神経学会 学術総会，2022.6.16. 福岡

福田正人，藤平和吉：コロナ禍から考える学校保健メンタルヘルス－「こころの健康社会」に向けて．第 69 回 高崎市学校保健会 総会，高崎，2022.5.（オンデマンド配信）

■2021年■

福田正人：「僕らのトラウマ」。すてっぷぐんま 支援活動員前期養成講座，前橋，2021.12.18.

福田正人：うつ病の基礎知識。令和3年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会。前橋，2021.10.31.

福田正人：当事者の人生と夢を考える作業療法。日本精神科病院協会・日本精神科医学会 学術教育研修会 作業療法士部門「地域へつなぐ精神科作業療法－作業・活動・参加に焦点を当てた支援を目指して」，前橋，2021.10.28.

山内康史，須田真史，有賀千春，野村隆則，中野達仁，小野樹郎，須田真史，藤平和吉，福田正人：新型コロナウイルスによる環境の変化を契機に神経性無食欲症を発症した1例。第45回群馬精神医学会。前橋，2021.10.23.

野村隆則，中野達仁，佐々木夢佳，成田秀幸，藤平和吉，福田正人：群馬大学精神科における児童思春期チームの活動報告。第45回群馬精神医学会。前橋，2021.10.23.

福田正人：統合失調症と Values-based psychiatry。統合失調症講演会 IN GIFU。オンライン，2021.10.05.

福田正人：生活と人生を支える精神保健看護を考える。第25回 北関東精神保健看護研究会。前橋，2021.9.23.

福田正人：コロナ禍から考えるこころの健康社会－こころと暮らしと薬。第4回 群馬県薬学会・県民公開講座。高崎，2021.05.16.

福田正人：こころの健康社会。うつ病の基礎知識。令和3年度 群馬県精神保健福祉協会・県民こころの健康づくりセミナー・基調講演。前橋，2021.4.25.

■2020年■

福田正人：うつ病の基礎知識. 令和2年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 前橋, 2020.11.8.

福田正人：「僕らのトラウマ」. すてっぷぐんま 支援活動員後期養成講座, 前橋, 2020.10.31.

関谷樹, 須田真史, 福田正人：腸管型パーチェット病を併発し複数の内服薬が奏功しなかった統合失調症患者に対し LAI が奏功した一例. 第116回 日本精神神経学会学術総会, 仙台, 2020.9.30.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防—一人でできること、社会ができること. 群馬県看護協会 令和2年度地域自殺対策強化事業研修会, 前橋, 2020.8.6.

福田正人：統合失調症と Values-based Psychiatry. 松沢病院臨床精神医学講座, 東京, 2020.1.28.

福田正人：「僕らのトラウマ」. すてっぷぐんま 支援活動員前期養成講座, 前橋, 2020.2.1.

■2019年■

福田正人：うつ病の基礎知識. 令和元年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 前橋, 2019.12.1.

武井雄一, 田川みなみ, 加藤隆, 須藤友博, 大城武史, 櫻井敬子, 福田正人：統合失調症の脳磁図を用いた安静時神経ネットワークグラフの検討. 第49回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2019.11.28.

須永匡一, 武井雄一, 田川みなみ, 加藤隆, 須藤友博, 大城武史, 藤原和之, 櫻井敬子, 福田正人：双極性障害を対象とした MEG を用いた周波数特異的コネクトーム解析による検討. 5th Psychiatry Neuroscience Seminar, 福岡, 2019.11.16.

Fujishima Y, Nakane Y, Mizuyama M, Takei Y, Kato Y, Tagawa M, Fukuda M, Mitsudo T, Hirano Y, Hironaga N : An MEG emotional face task study, HC vs. SZ - A joint collaboration between Gunma-U and Kyushu-U. 5th Psychiatry Neuroscience Seminar, 福岡, 2019.11.16.

関谷樹, 武井雄一, 高橋由美子, 須田真史, 小野樹郎, 櫻井敬子, 福田正人：大うつ病性障害の前頭葉機能の年齢差についての検討；光トポグラフィー研究. 5th Psychiatry Neuroscience Seminar, 福岡, 2019.11.16.

加藤隆, 武井雄一, 梅田聡, 田淵肇, 三村將, 福田正人：気分障害における HEFs 異常について. 5th Psychiatry Neuroscience Seminar, 福岡, 2019.11.16.

田川みなみ, 武井雄一, 加藤隆, 須藤友博, 大城武史, 櫻井敬子, 福田正人：統合失調症の安静時ネットワーク変容と症状形成の関連について—脳磁図研究. 5th Psychiatry Neuroscience Seminar, 福岡, 2019.11.16.

花岡智咲, 須田真史, 須永匡一, 野村隆則, 武井雄一, 小野樹郎, 藤平和吉, 福田正人：精神科長期入院中に大腸癌と診断され、方針決定に苦慮した症例. 第44回群馬精神医学会, 前橋, 2019.11.2.

藤平和吉, 佐々木夢佳, 野村隆則, 中野達仁, 成田秀幸, 福田正人：教師と作る「こころの授業」～「教育－医療連携」からの実践報告～. 第44回群馬精神医学会, 前橋, 2019.11.2.

Takei Y, Kato Y, Tagawa M, Ohki T, Suto T, Saurai N, Fukuda M : The relationship between self-monitoring and resting connectome in bipolar disorder: an MEG study. 2019 CINP International Meeting, Athene, Greece, 2019.10.3-5.

Yutaka K, Takei Y, Umeda S, Mimura M, Fukuda M : Aberrant cortical connectivity revealed by the heartbeat evoked magnetic fields (HEFs) in patients with mood disorders. 2019 CINP International Meeting, Athene, Greece, 2019.10.3-5.

Fukuda M, the collaborative team for the co-productive guidance : A co-productive development of a practical guidance for patients-centered and life-oriented recovery of schizophrenia in Japan. The 7th European Conference on Schizophrenia Research, Berlin, 2019.9.26-28

Kumakura Y, Hamada J, Ogawa T, Kanehara A, Morishima R, Noriko O, Fukuda M, Kasai K : Support for adolescents and young adults (AYA) with 22q11.2 deletion syndrome. The 7th European Conference on Schizophrenia Research, Berlin, 2019.9.26-28

福田正人：統合失調症のリカバリーを考える．統合失調症のリカバリーを考える会 in 上信 上田・2019.9.3.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防—一人でできること、社会ができること．群馬県看護協会 看護職のためのうつ・自殺予防研修，前橋，2019.8.1.

福田正人：いろいろな人のそれぞれの命—できることと支え合い（座学①：生命倫理の学習）．群馬大学医学部 小中学生のための体験教室，前橋，2019.7.30.

福田正人：プライマリケアにおける不安と不眠．令和元年度 向精神薬の長期処方に関わる講習会．前橋，2019.7.12.

Kato Y, Takei Y, Umeda S, Tabuchi H, Mimura M, Fukuda M : Alterations of heartbeat evoked magnetic fields (HEFs) during disgusting sound listening. 25th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping, Rome, 2019.6.9-13.

Takei Y, Kato Y, Tagawa M, Ohki T, Suto T, Sakurai N, Fukuda M : The relationship between self-monitoring and resting connectome in bipolar disorder: An MEG study. 25th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping, Rome, 2019.6.9-13.

宮田茂雄，山形弘隆，藤原和之，三國雅彦，柳川右千夫，中川伸，福田正人：うつ病患者の白血球に認められる遺伝子発現変動に対する性差の影響．第41回日本生物学的精神医学会，新潟，2019.6.23.

福田正人：指定発言（委員会シンポジウム2：精神科専門医に必要な精神療法の学び

方). 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20-22.

安藤久美子, 加茂登志子, 三原伊保子, 池淵恵美, 石井知行, 梅田寿美代, 榎戸英佐子, 岸本年史, 佐藤眞弓, 早苗麻子, 平山太日子, 福田正人, 藤井千代, 布施泰子, 安川節子, 渡辺雅子: 精神科領域におけるダイバーシティとワークライフマネジメントの現状: 2017 年調査-第 2 報. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20-22.

須藤友博, 田川みなみ, 武井雄一, 芦名孝一, 赤田卓志朗, 福田正人: 当院でのクロザピン治療の現状と効果が見込める症例の検討-後方視的調査研究及び脳機能画像学的検査. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20-22.

関谷樹, 武井雄一, 高橋由美子, 須田真史, 小野樹郎, 櫻井敬子, 福田正人: 光トポグラフィを用いた大うつ病性障害の前頭葉機能の年齢差についての検討. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20-22.

田川みなみ, 武井雄一, 加藤隆, 須藤友博, 大城武史, 櫻井敬子, 福田正人: 統合失調症における安静時脳活動について: 脳磁図を用いた神経ネットワークのグラフ解析による検討. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20-22.

福田正人: 精神科診断における精神症状と脳機能と主観体験 (シンポジウム 82: 精神科診断に求められる機能・要件を考える). 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20-22.

福田正人: 精神科医が考える精神疾患と向精神薬. 第 14 回高崎健康福祉大学 生涯研修セミナー, 高崎, 2019.6.8.

福田正人: 専門医制度と臨床研修制度の新展開と今後の医療 (ミニレクチャー1). 2019 年群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学同窓会, 前橋, 2019.5.25.

武井雄一, 田川みなみ, 加藤隆, 須藤友博, 大城武史, 櫻井敬子, 福田正人: 統合失調症を対象とした脳磁図による安静時神経ネットワークの検討. 第 14 回日本統合失調症学会, 札幌, 2019.04.19.

福田正人: プライマリケアにおける不安と不眠. 平成 30 年度 向精神薬の長期処方に関わる講習会. 前橋, 2019.2.27.

福田正人: 脳神経倫理. 群馬大学医学部 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会委員向け講習会 2019.2.25.

■2018年■

福田正人：精神疾患と共同創造 co-production. ポスト医ゼミ in 群馬 2018, 前橋市, 2018.12.15.

中曽根拓也, 須田真史, 中島弾, 佐々木夢佳, 矢内功是, 小平真弓, 塚越知子, 武井雄一, 福田正人：入院治療によって改善が得られた中年期摂食障害患者の一例. 第22回日本摂食障害学会学術集会, 名護市, 2018.11.8~9.

塚越知子, 須田真史, 武井雄一, 小平真弓, 福田正人：神経性やせ症へのケースワーク. 第22回日本摂食障害学会学術集会, 名護市, 2018.11.8~9.

福田正人：うつ病の基礎知識. 平成30年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 前橋, 2018.11.11.

中島弾, 須田真史, 中曽根拓也, 小野樹郎, 藤平和吉, 福田正人：周産記・出産・育児の対応に苦慮した未婚の統合失調症の1例. 第114回東京精神医学会, 東京, 2018.11.3.

喜連一朗, 草野建祐, 茂木智和, 野村隆則, 須永匡一, 関谷樹, 須田真史, 福田正人：クロザピンで改善が見られず ECT を施行した統合失調症の1例. 第43回群馬精神医学会, 前橋, 2018.10.20.

井上恵理子, 須田真史, 武井雄一, 小野樹郎, 藤平和吉, 平岡敏明, 佐藤大仁, 井田逸朗, 福田正人：総合病院での後期臨床研修—4年間を振り返って. 第43回群馬精神医学会, 前橋, 2018.10.20.

福田正人：精神現象と脳機能と主観体験（メインシンポジウム：様々な場面で精神科診断に求められる機能と要件を考える）. 第38回日本精神科診断学会, 川越, 2018.10.18.

福田正人：犯罪被害の心理と支援. すてっぷぐんま 支援活動員後期養成講座, 前橋, 2018.9.29.

福田正人：人を支援することを考える（演題I）. 東海 PPST セミナー, 名古屋, 2018.9.13.

福田正人：人を支援することを考える. SST 普及協会北関東支部 総会研修講演, 前橋, 2018.8.28.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防—一人でできること、社会ができること。こころのケア・スキルアップ研修会 第2回（群馬県看護協会・自殺防止対策研修会 ゲートキーパー人材養成事業），前橋，2018.8.23.

福田正人：医学教育分野別評価を受審して—群馬大学（セッション3：医学教育改革・国際認証）。第36回 精神医学講座担当者会議，札幌，2018.8.17.

福田正人：群馬大学の状況と取り組み（セッション6：時間外労働、働き方改革を考える）。第36回 精神医学講座担当者会議，札幌，2018.8.18.

福田正人：群馬大学の状況・取り組み①（セッション8：将来を担う人材をいかに大学精神科に集めるか—若手リクルートの工夫）。第36回 精神医学講座担当者会議，札幌，2018.8.18.

福田正人：いろいろな人のそれぞれの命—できることと支え合い（座学①：生命倫理の学習）。群馬大学医学部 小中学生のための体験教室，前橋，2018.7.31.

福田正人：人生の支援としての SST—主体価値のリカバリーに向けた共同創造（シンポジウム：SSTは進化する—エンパワード SST の実際）。第24回 SST 全国経験交流ワークショップ in 東京，東京，2018.7.28.

関谷樹，草野建祐，小野樹郎，福田正人：治療が軌道に乗った矢先に患者からもらったラブレター—神経性無食欲症治療中の苦悩。東京精神医学会 第113回学術集会，東京，2018.7.14.

須永匡一，草野建祐，小野樹郎，福田正人：割腹で緊急入院したが自殺企図の背景への直面化が功を奏した適応障害の1例。東京精神医学会 第113回学術集会，東京，2018.7.14.

佐々木夢佳，須田真史，野村隆則，小野樹郎，福田正人：治療同意を得るのに難渋し症状が遷延した大うつ病性障害の1例。東京精神医学会 第113回学術集会，東京，2018.7.14.

福田正人：大人の発達障害。前橋市医師会卒後研修会，前橋，2018.7.12.

Miyata S, Mikuni M, Yanagawa Y, Fukuda M : Common blood-based markers in female patients and a model mouse of depression. 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology, Kyoto, 2018.7.1-6.

澤田欣吾, 榊原英輔, 金原明子, 小池春菜, 藤枝由美子, 管心, 宮本有紀, 福田正人, 笠井清登: 統合失調症患者に対する臺式簡易客観的精神指標 (UBOM) の有用性についての検討 (シンポジウム 44: 簡易で SDM に役立つ精神機能指標を求めて— UBOM を例として). 第 114 回 日本精神神経学会学術総会, 神戸, 2018.6.22.

福田正人: 精神疾患の臨床検査実用化の意義と過程を NIRS の経験から考える (シンポジウム 64 光トポグラフィー検査の先進国として). 第 114 回 日本精神神経学会学術総会, 神戸, 2018.6.22.

Kato Y, Takei Y, Umeda S, Goto Y, Mimura M, Fukuda M, Tabuchi H: Insular activity during disgusting sound listening evaluated by heartbeat evoked magnetic fields. 24th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping, Singapore, 2018.6.17-21.

Takei Y, Kato Y, Tagawa M, Ohki, Sakurai N, Fukuda M: Altered neural oscillation in schizophrenia during facial recognition: an MEG study. 24th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping, Singapore, 2018.6.17-21.

澤田欣吾, 榊原英輔, 金原明子, 小池春菜, 藤枝由美子, 管心, 宮本有紀, 福田正人, 笠井清登: 統合失調症患者に対する臺式簡易客観的精神指標 (Utena's Brief Objective Measures: UBOM) の意義についての研究. 第 13 回日本統合失調症学会, 徳島, 2018.3.23-24.

古谷野智恵, 小野樹郎, 矢内功是, 武井雄一, 福田正人: 身体症状症とされていたが幻聴を契機に前頭側頭葉変性症に診断を変更し治療効果を得られた 1 例. 第 112 回東京精神医学会, 東京, 2018.3.3.

喜連一朗, 武井雄一, 有賀千春, 小野樹郎, 藤平和吉, 福田正人: 入院加療中に死別反応を経験した大うつ病性障害の 1 例. 第 112 回東京精神医学会, 東京, 2018.3.3.

有賀千春, 武井雄一, 喜連一朗, 村山侑里, 小野樹郎, 藤平和吉, 福田正人: 入院加療中にガンザー症候群を呈した神経性食思不振症の 1 例. 第 112 回東京精神医学会, 東京, 2018.3.3.

福田正人: 犯罪被害の精神的・心理的影響と精神医療の役割. すてっぷぐんま 支援活動員前期養成講座, 前橋, 2018.2.3.

■2017年■

福田正人：ディスカッサント講評（新学術領域「共感性」「こころの時間学」「意志動力学」「個性創発脳」「思春期主体価値」－意志創発の進化・脳・心理基盤）。次世代脳プロジェクト冬のシンポジウム，東京，2017.12.20..

福田正人，金田渉，山口創生，村井俊哉，萱間真美，西田淳志，向谷地生良，丹羽真一，笠井清登，橋本亮太：主体的人生のための統合失調症リカバリー支援－当事者との共同創造 co-production による実践ガイドライン策定。平成 29 年度 AMED 脳と心の研究課研究交流会，東京，2017.11.30.

藤原和之，武井雄一，田川みなみ，成田耕介，氏田浩一，福田正人：後部帯状回体積と前頭葉機能の関連。第 47 回日本神経生理学会，横浜，2017.11.29～12.1.

福田正人：光トポグラフィー検査について。国立精神・神経疾患研究センター病院 平成 29 年度 第 2 回 光トポグラフィー検査講習会，東京，2017.11.25.

井上恵理子，井田逸朗，平野かほり，芦名孝一，小野樹郎，福田正人，鈴木雅文，茂木充：間質性肺炎に対するステロイド療養中に精神病症状を呈した双極性障害の 1 例。第 111 回東京精神医学会，東京，2017.11.18.

福田正人：心の病気と脳の働き（一日医学部体験）。第 31 回 群馬大学医学祭，前橋，2017.11.12..

福田正人：精神の病を持つ人をいのちの電話でどう支えていくか。群馬いのちの電話・相談員研修，前橋，2017.11.5.

武井雄一，田川みなみ，廣永成人，加藤隆，大城武史，山口実穂，櫻井敬子，福田正人：MEG による統合失調症の表情認知課題中の神経オシレーションの検討。3rd Psychiatry Neuroscience Seminar，2017.11.3.

笠木真人，茂木智和，成田耕介，藤原和之，鈴木雄介，氏田浩一，嶋田博考，福田正人：
健康高齢者の認知機能と右下前頭回における GABAA 受容体結合能の関係について。
第 27 回日本臨床精神神経薬理学会，松江，2017.11.1-2.

藤原和之，武井雄一，田川みなみ，成田耕介，氏田浩一，福田正人：後部帯状回体積と前頭葉機能の関連。横浜，2017.10.30..

福田正人：うつ病の基礎知識. 平成 29 年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 前橋, 2017.10.15.

Tagawa M, Takei Y, Kato Y, Sakurai N, Yamabuchi M, Fukuda M : Altered functional connectivity in the brains of patients with schizophrenia at resting state: a magnetoencephalography study. WPA XVII World Congress of Psychiatry, Berlin, 2017.10.8-12.

草野建祐, 小野樹郎, 三浦あやか, 林若穂, 平野かほり, 村山侑里, 三浦侑乃, 古谷野智恵, 矢内功是, 福田正人：群馬大学認知行動療法専門外来の活動報告. 第 42 回群馬精神医学会, 前橋, 2017.10.7.

藤平和吉, 成田秀幸, 福田正人：教育行政に精神科医がお手伝いできることー沼田市・みなかみ町・草津町教育委員会の実践から. 第 42 回群馬精神医学会, 前橋, 2017.10.7.

武井雄一, 田川みなみ, 加藤隆, 大城武史, 山口実穂, 笠木真人, 高橋由美子, 茂木智和, 鈴木雄介, 櫻井敬子, 福田正人：MEG による統合失調症を対象とした表情認知課題中のオシレーションの検討. 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会, 札幌, 2017-9.28-30.

宮田茂雄, 柳川右千夫, 三國雅彦, 福田正人：脳と白血球における発現変動遺伝子の相関解析ーうつ病モデルマウスを用いた検討. 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会, 札幌, 2017-9.28-30.

山形弘隆, 内田周作, 松尾幸治, 原田健一郎, 宮田茂雄, 福田正人, 三國雅彦, 渡邊義文：うつ病患者白血球とうつ病モデルマウス血液に共通した遺伝子発現変化. 第 39 回日本生物学的精神医学会・第 47 回日本神経精神薬理学会, 札幌, 2017-9.28-30.

Fukuda M, Niwa S-I, Murai T, Kasai K, Kanehara A, Kanata S, Kumakura Y, Okazaki Y : An ongoing trial for recovery-oriented and co-productive reform of academic schizophrenia research society: a challenge of the Japanese Society of Schizophrenia Research (JSSR). The 6th European Conference on Schizophrenia Research, Berlin, 2017.9.14-16.

Kanehara A, Kumakura Y, Kanata S, Fujieda Y, Koike H, Morita K, Yamaguchi S, Miyamoto Y, Nochi M, Fukuda M, Kasai K : Development of a framework of recovery for mental health service users in Japan. The 6th European Conference on Schizophrenia Research, Berlin, 2017.9.14-16.

Kumakura Y, Kanehara Y, Kanata S, Natsukari I, Kondo S, Ichihashi K, Suga M, Miyamoto Y, Ikebuchi E, Fukuda M, Kasai K : Development of a Question Prompt Sheet for Schizophrenia: Dissemination strategies to raise awareness of Shared Decision Making (SDM) in Japan. The 6th European Conference on Schizophrenia Research, Berlin, 2017.9.14-16.

<座長> The 6th European Conference on Schizophrenia Research, Berlin, 2017.9.14-16. : Poster session 12: Neurobiology and genetics.

Fukuda M, Murai T, Kasai K, Niwa S-I, Okazaki Y : Schizophrenia Research in Japan (Plenary Symposium 2: Schizophrenia research in Asian countries). The 5th Asian Congress of Schizophrenia Research (ACSR) in conjunction with the 2017 Asia Pacific Meeting of the World Association for Psychosocial Rehabilitation (WAPR), Bangkok, 2017.9.3.

<座長> The 5th Asian Congress of Schizophrenia Research (ACSR) in conjunction with the 2017 Asia Pacific Meeting of the World Association for Psychosocial Rehabilitation (WAPR), Bangkok, 2017.9.3.: Plenary Symposium 2: Schizophrenia research in Asian countries.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防—一人でできること、社会ができること。群馬県看護協会・自殺防止対策研修会・ゲートキーパー人材養成事業・こころのケア・スキルアップ研修会 第2回，前橋，2017.8.24.

福田正人：医学教育分野別評価を受審して考えた精神医学講座担当者会議の役割。第35回 精神医学講座担当者会議，松山，2017.8.19.

福田正人：おとなの精神科医の立場から（社会的養護卒業生の『社会の一員になる』『親になる』を支える）。ひだまりサロンシンポジウムⅡ，前橋，2017.7.17.

福田正人：精神疾患の診断の現状（シンポジウム・fNIRSの臨床応用Ⅰ）。第20回 日本光脳機能イメージング学会，東京，2017.7.15.

野村隆則，須田真史，佐々木夢佳，小野樹郎，武井雄一，成田秀幸，吉田みのり，池田佳生，小林剛，柿崎暁，福田正人：ウィルソン病に伴う難治性器質性精神疾患への治療の試み1例。第110回東京精神医学会学術集会，東京，2017.7.8.

矢内功是，小野樹郎，古谷野智恵，藤生徹，藤平和吉，福田正人：恋愛妄想のため出産後の対応に苦慮した統合失調症の未婚女性。第110回東京精神医学会学術集会，東京，2017.7.8.

Takei Y, Kosuda A, Tagawa M, Kasagi M, Kato Y, Sakurai N, Fukuda M, Seki Y :

Characteristics of the spatial distribution of MEG data using self-organizing map. OHBM 2017, Vancouver, 2017.6.29.

Kato Y, Takei Y, Umeda S, Mimura M, Fukuda M : Alteration of heartbeat evoked magnetic fields (HEFs) by emotional affective sound stimuli. OHBM 2017, Vancouver, 2017.6.29.

福田正人：群馬の子どものこころを育むー小児科と精神科と地域社会の共同（教育講演）. 第 204 回 日本小児科学会群馬地方会講和会，高崎，2017.6.25.

福田正人：共同創造としての統合失調症リハビリガイドライン作成の取組み（シンポジウム 28・統合失調症のリハビリガイドラインー当事者との共同創造 co-production）. 第 113 回 日本精神神経学会学術総会，名古屋，2017.6.23.

福田正人：精神疾患と統合失調症ー生活と人生を見通す薬剤師に. クオール社・QOL 精神疾患エキスパートコース，東京，2017.5.24.

福田正人：当事者の視点に沿った統合失調症の理解と支援（教育講演 5）. 第 12 回 日本統合失調症学会，米子，2017.3.25.

鈴木雄介，茂木智和，笠木真人，藤原和之，氏田浩一，成田耕介，福田正人：摂食障害患者における、認知心理課題と脳画像の検討. 第 19 回日本ヒト脳機能マッピング学会，京都，2017.3.10.

茂木智和，笠木真人，藤原和之，鈴木雄介，氏田浩一，Jamie Near，成田耕介，福田正人：老年期を対象とした包括的画像研究について. 第 19 回日本ヒト脳機能マッピング学会，京都，2017.3.10.

笠木真人，Zirui Huang，成田耕介，設楽仁，茂木智和，鈴木雄介，藤原和之，Sean Tanabe，小坂宏隆，氏田浩一，福田正人，Georg Northoff：脳活動のスケールフリーな指標と課題施行中の行動について. 第 19 回日本ヒト脳機能マッピング学会，京都，2017.3.9.（若手奨励賞）

三浦侑乃，福田雄太郎，藤原和之，佐藤大仁，武井雄一，小野樹郎，服部卓，福田正人：巻き込み型の強迫症に対する入院治療ー薬物・精神療法・家族介入による統合的アプローチ. 東京精神医学会 第 109 回学術集会，東京，2017.3.11.

中野達仁，武井雄一，佐藤大仁，塚越麻希，小野樹郎，福田正人：関節リウマチによるうつ病の加療中にミオクローヌスてんかん発作を来した 1 例. 東京精神医学会 第 109 回学術集会，東京，2017.3.11.

福田正人：大切な患者さんを自殺で失わないために一院内自殺予防マニュアルを改訂して．群馬大学医学部附属病院 平成 28 年度第 5 回医療安全セミナー，前橋，2017.2.22.

福田正人：統合失調症のリカバリーと脳科学．宮崎 DSA カンファレンス 2017（特別講演），宮崎，2017.1.28.

■2016年■

Takei Y, Kosuda A, Tagawa M, Kasagi M, Fukuda M, Seki Y : Resting State Large Scale Network Analysis of MEG Data Using Self-Organizing Map. 3rd International Symposium of Gunma University Medical Innovation and 8th International Conference on Advanced Micro-Device Engineering (GUMI & MADE 2016, 第3回群馬大学医理工生命医科学融合医療イノベーション国際シンポジウム・第8回先端微細素子に関する国際会議), 桐生, 2016.12.9.

村山侑里, 菊池雄太郎, 関口秀文, 高嶺朋三, 小野樹郎, 藤平和吉, 原秀之, 福田正人 :

認知機能低下を主訴に受診した神経梅毒の一例. 第29回日本総合病院精神医学会学術総会, 東京, 2016.11.25-26.

草野建祐, 松川幸英, 恵良真由美, 三浦あやか, 高嶺朋三, 村山侑里, 藤原和之, 青山 義之, 成田秀幸, 佐藤大仁, 小野樹郎, 藤平和吉, 武井雄一, 福田正人 : 抗 NMDA 受容体抗体脳炎後の精神症状が行動療法的介入により改善した一例. 第29回日本総合病院精神医学会学術総会, 東京, 2016.11.25-26.

高橋由美子, 武井雄一, 田川みなみ, 笠木真人, 櫻井敬子, 宮田茂雄, 峯岸敬, 福田正人 : 近赤外線スペクトロスコピー NIRS を用いた月経周期および周産期に伴う内分泌学的変化と脳機能変化の検討. 第13回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会, 東京, 2016.11.19-20.

福田正人 : 光トポグラフィー検査について. 国立精神・神経疾患研究センター病院 平成28年度 第2回 光トポグラフィー検査講習会, 東京, 2016.11.12.

塚越麻希, 佐藤大仁, 武井雄一, 中野達仁, 成田秀幸, 小野樹郎, 福田正人 : 素行の障害を伴う自閉スペクトラム症の大学病院での治療とその課題. 東京精神医学会第108回学術集会, 東京, 2016.11.5.

福田正人 : うつ病の基礎知識. 平成28年度 群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会. 前橋, 2016.10.30.

小野樹郎, 武井雄一, 三浦あやか, 草野建祐, 林若穂, 平野かほり, 櫻井敬子, 高嶺朋三, 村山侑里, 青山義之, 成田耕介, 福田正人 : 認知行動療法のパニック障害への有効性の脳基盤についての NIRS 縦断研究. 第46回日本臨床神経生理学会学術総会, 郡山, 2016.10.27.

福田正人：こころの健康にリアルワールド脳・行動計測を応用する会。東京，
2016.10.02.

三浦あやか，小野樹郎，高嶺朋三，草野建祐，林若穂，平野かほり，村山侑里，福田
正人：当院における認知行動療法専門外来の取り組みと課題。第41回群馬精神医学
会，前橋，2016.10.1.

福田正人：家族の力と社会の力（みんなが元気になれる家族会活動—家族を支援する
立場から）。みんなねっと関東ブロック大会 in 群馬，前橋，2016.9.15.

福田正人：開会挨拶・閉会挨拶。秋のすいみんの日 市民公開講座 2016 群馬—ぐぐつ
とぐっすり！快眠三つ星講座，前橋，2016.9.3.

武井雄一，藤原和之，田川みなみ，笠木真人，高橋由美子，加藤隆，茂木智和，鈴木
雄介，櫻井敬子，山口実穂，廣永成人，飛松省三，成田耕介，福田正人：MEGによる
神経伝達物質とワーキングメモリー課題中のオシレーション活動の関係性について。
第38回日本生物学的精神医学会・第59回日本神経科学学会大会，福岡，2016.9.9-10.

里村嘉弘，福田正人，宮田茂雄，櫻井敬子，藤原和之，武井雄一，成田耕介，三國雅
彦：うつ病についての脳画像や血液の簡便なバイオマーカーが反映する病態。第38回
日本生物学的精神医学会・第59回日本神経科学学会大会，福岡，2016.9.9-10.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防—一人でできること、社会ができること。群馬
県看護協会・自殺防止対策研修会・ゲートキーパー人材養成事業・こころのケア・スキ
ルアップ研修会 第2回，前橋，2016.8.8.

福田雄太郎，武井雄一，林若穂，小野樹郎，福田正人：自閉症スペクトラム障害を有
する摂食障害の行動療法の検討。第107回東京精神医学会，東京，2016.7.16.

福田正人，武井雄一，青山義之，櫻井敬子，小野樹郎，藤原和之，成田秀幸，成田耕
介：精神疾患についての光トポグラフィ検査実用化の経験（ミニシンポジウム4：
精神・神経疾患における認知機能障害の病態・評価・治療—トランスレーショナルなアプ
ローチ）。第46回 日本神経精神薬理学会，ソウル，2016.7.2.

武井雄一，藤原和之，田川みなみ，笠木真人，高橋由美子 加藤隆，茂木智和，鈴木雄介，
櫻井敬子，山口実穂，廣永成人，飛松省三，成田耕介，福田正人：ワーキングメモリー
課題中のオシレーション活動と神経伝達物質の関係についての検討-MEG と MRS によ
るマルチモダリティ研究。第31回日本生体磁気学会大会，金沢，2016.6.9.

山口 実穂, 武井 雄一, 加藤 隆, 田川 みなみ , 笠木 真人, 福田 正人 : 視線の注意定位効果に対する表情の影響—MEGによる検討. 第 31 回日本生体磁気学会大会, 金沢, 2016.6.9.

田川みなみ, 武井雄一, 笠木真人, 高橋由美子, 加藤隆, 藤原和之, 茂木智和, 鈴木雄介, 桜井敬子, 山口実穂, 福田正人 : 脳磁図を用いた統合失調症の安静時神経ネットワークの研究. 第 31 回日本生体磁気学会大会, 金沢, 2016.6.9.

福田正人, 藤平和義, 武井雄一, 佐藤大仁, 青山義之 : 人生と脳機能の本来のあり方とリカバリー (シンポジウム 58 : リカバリーをどう支援することができるか—プロセスの科学とそれに基づく支援の提案). 第 112 回 日本精神神経学会学術総会, 幕張, 2016.6.4.

福田正人, 原田明子, 高橋由美子, 三浦あやか, 田川みなみ, 松川幸英, 池淵恵美 : 女性医師の強みと経験を生かせるキャリア形成支援を考える (委員会シンポジウム 1・男女共同参画推進委員会 : 女性医師がよりよく活躍するには—現状の分析と課題). 第 112 回 日本精神神経学会学術総会, 幕張, 2016.6.2.

福田正人 : 光トポグラフィー検査について. 国立精神・神経疾患研究センター病院平成 28 年度 第 1 回 光トポグラフィー検査講習会, 東京, 2015.11.14.

福田正人 : 統合失調症学会のリカバリー. 第 11 回日本統合失調症学会, 前橋, 2016.3.26.

草野建祐, 藤原和之, 武井雄一, 成田耕介, 桜井敬子, 田川みなみ, 笠木真人, 茂木智和, 鈴木雄介, 高橋由美子, 小野樹郎, 青山義之, 氏田浩一, 福田正人 : 統合失調症における視床体積と前頭葉賦活の関連. 第 11 回日本統合失調症学会, 前橋, 2016.3.26.

田川みなみ, 武井雄一, 藤原和之, 山口実穂, 笠木真人, 鈴木雄介, 茂木智和, 高橋由美子, 成田耕介, 加藤隆, 齊藤良, 福田正人 : 脳磁図を用いた精神疾患の安静時神経ネットワークの研究. 第 11 回日本統合失調症学会, 前橋, 2016.3.26.

夏苺郁子, 金原明子, 熊倉陽介, 荒牧栄治, 熊谷晋一郎, 笠井清登, 池淵恵美, 福田正人 : 当事者・家族の協力を得て真に価値ある研究をするには何が必要か—演者が実施した医師-患者関係についての全国調査を通して考える. 第 11 回日本統合失調症学会, 前橋, 2016.3.26.

宮田茂雄, 三國雅彦, 福田正人 : うつ病モデルマウスの脳と白血球における発現変動

遺伝子の比較検討. 第 25 回神経行動薬理若手研究者の集い, さいたま, 2016.3.8.

藤平和吉, 渡會昭夫, 福田正人: 薬剤により誘発されたてんかん発作—薬理作用と脆弱素因の考察. 第 40 回 群馬てんかん懇話会, 前橋, 2016.2.19.

■2015年■

福田正人：うつ病の基礎知識。平成27年度「群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会」，前橋，2015.12.13.

福田正人：光トポグラフィー検査 (NIRS) による抑うつ症状の鑑別診断補助。第5回 JIRA 画像医療システム産業研究会 (精神疾患(認知症・うつ病)の予防と診断と治療—画像診断とロボット技術の応用—)，東京，2015.12.9.

三浦あやか，林若穂，草野建祐，高嶺朋三，小野樹郎，平岡敏明，佐藤大仁，藤平和吉，福田正人：現実検討能力低下のため身体疾患手術治療の意思決定への対応に苦慮した統合失調症症例。第28回日本総合病院精神医学会総会，徳島，2015.11.27-28.

山崎彩子，櫻井優花，千明和泉，恵良真由美，荒木聖美，服部卓，小野樹郎，藤平和吉，青山義之，福田正人：当院精神科病棟における服薬自己管理の現状と課題。第28回日本総合病院精神医学会総会，徳島，2015.11.27-28.

福田正人：光トポグラフィー検査について。国立精神・神経疾患研究センター病院平成27年度第2回光トポグラフィー検査講習会，東京，2015.11.14.

村山侑里，佐藤大仁，平岡敏明，成田秀幸，小野樹郎，藤平和吉，福田正人：思春期の社交不安障害に対する入院治療の工夫。第105回東京精神医学会，東京，2015.11.14.

藤原和之，成田耕介，鈴木雄介，笠木真人，茂木智和，武井雄一，田川みなみ，氏田浩一，対馬義人，Near Jamie，福田正人：前部帯状回のGABA濃度と帯状回領域内の安静時機能的結合強度の関連。第44回日本臨床神経生理学会，大阪，2015.11.7.

武井雄一，藤原和之，田川みなみ，廣永成人，笠木真人，高橋由美子，茂木智和，鈴木雄介，青山義之，櫻井敬子，山口実穂，飛松省三，氏田浩一，対馬義人，成田耕介，福田正人：興奮-抑制バランスはワーキングメモリー課題におけるオシレーション変化を予測する。第44回日本臨床神経生理学会，大阪，2015.11.7.

小野樹郎，武井雄一，三浦あやか，林若穂，平野かほり，櫻井敬子，高嶺朋三，村山侑里，青山義之，成田耕介，福田正人：パニック障害患者における認知行動療法の効果：NIRSを用いた縦断的検討。第44回日本臨床神経生理学会，大阪，2015.11.7.

Takatsuru Y, Koibuchi N, Fukuda M : Homeostasis of glutamatergic synapses in adolescent is

disrupted by early-life-stress. International Symposium: Adolescent brain & mind and Self-regulation, Tokyo, 2015.11.1.

村山侑里, 佐藤大仁, 平岡敏明, 成田秀幸, 小野樹郎, 藤平和吉, 福田正人: 思春期の社交不安障害に対する入院治療の工夫. 第40回群馬精神医学会, 前橋, 2015.10.31.

福田正人: 心の病気と脳の働き (一日医学部体験). 第30回 群馬大学医学祭, 前橋, 2015.10.25.

福田正人: 統合失調症のリカバリーと脳機能を考える (特別講演). 第9回 山口県統合失調症研究会, 山口, 2015.10.3.

藤原和之, 成田耕介, 武井雄一, 須田真史, 青山義之, 氏田浩一, 福田正人: 双極性障害における空間再認記憶の障害と白質統合性の関連. 第37回日本生物学的精神医学会・第45回日本神経精神薬理学会, 東京, 2015.9.24-26.

宮田茂雄, 倉知正, 櫻井敬子, 石崎泰樹, 三國雅彦, 福田正人: うつ病モデルマウスの白血球と内側前頭前皮質における発現変動遺伝子の類似性. 第37回日本生物学的精神医学会・第45回日本神経精神薬理学会, 東京, 2015.9.24-26.

福田正人: 未知の全体に直面する精神科医、既知の拡大を目指す神経科学者 (シンポジウム12: 臨床知に根ざした神経科学を担う人材育成・指定発言). 第37回日本生物学的精神医学会・第45回日本神経精神薬理学会, 東京, 2015.9.25.

福田正人, 武井雄一, 青山義之, 櫻井敬子, 小野樹郎, 成田秀幸, 成田耕介: 精神疾患の客観的補助診断法—NIRSの経験から (シンポジウム22: 精神疾患における客観的な補助診断法の最前線). 第37回 日本生物学的精神医学会・第45回 日本神経精神薬理学会, 東京, 2015.9.26.

藤原和之, 成田耕介, 鈴木雄介, 笠木真人, 茂木智和, 武井雄一, 田川みなみ, 氏田浩一, Jamie Near, 福田正人: γ -Aminobutyric acid in anterior cingulate cortex predicts intra-cingulum functional connectivity in human: a magnetic resonance imaging study. 第58回日本神経化学学会大会, さいたま, 2015.9.11-13.

三國雅彦, 宮田茂雄, 櫻井敬子, 福田正人: Search for the blood based biomarkers of late onset major depressive disorder from the patients and the model mice. 第58回日本神経化学学会大会, さいたま, 2015.9.11-13.

福田正人：学生と研修医が魅力を感じる講義と実習－精神医学を発展させる後継者を育てる（シンポジウム3：領域別認証制度に向けて）。第33回精神医学講座担当者会議，指宿，2015.8.22.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防－一人でできること、社会ができること。（群馬県看護協会・自殺防止対策研修会 ゲートキーパー人材養成事業 こころのケア・スキルアップ研修会 第2回，前橋，2015.8.11.

佐藤利正，成田秀幸，武井雄一，須田真史，桜井敬子，山口実穂，成田耕介，福田正人，三國雅彦：近赤外線スペクトロスコピー（NIRS）を用いた広汎性発達障害の前頭葉機能についての検討。第18回日本光脳機能イメージング学会，東京，2015.7.25.

福田正人：うつ病から考える「心の健康社会」（MD/CT 合同 教育講演 2 健康寿命とうつ病）。第12回日本うつ病学会総会・第15回日本認知療法学会，東京，2015.7.17.

井上恵理子，平岡敏明，小野樹郎，福田正人：出産後の育児環境調整に苦慮した統合失調症合併妊娠の1例。第104回東京精神医学会学術集会，東京，2015.7.4.

福田正人：臨床ユーザーが考えるNIRSにできないこと（シンポジウム1・NIRSの光と影 Part2）。第17回日本ヒト脳機能マッピング学会，大阪，2015.7.2.

Kasagi M, Fujihara K, Motegi T, Takei Y, Suzuki Y, Tagawa M, Sakurai N, Ujita K, Tsushima Y, Narita K, Fukuda M : Relationship between white matter integrity and the brain reward system in adolescence and adulthood. Organization for Human Brain Mapping 2015, Hawaii, 2015.6.14-18.

福田正人：指定発言（シンポジウム28・リカバリーの脳科学と支援ガイドライン），第111回日本精神神経学会学術総会，大阪，2015.6.6.

福田正人：「症状にもとづく診断」の意味（教育講演2）。第10回日本統合失調症学会，東京，2015.3.27.

福田正人：働く場から見る社会参加－『働く幸せ』と『利他のすすめ』（ランチオンセミナー2）。第10回日本統合失調症学会，東京，2015.3.27.

Miyata S, Kurachi M, Okano Y, Harada K, Yamagata H, Matsuo K, Takahashi K, Narita K, Fukuda M, Ishizaki Y, Mikuni M : Identical blood biomarkers in late-onset major depressive disorder patients and model mice. 第88回日本薬理学会，名古屋，2015.3.18.

宮田茂雄，福田正人，三國雅彦：白血球 mRNA を指標にした抑うつ症状マーカーの同定と動物モデルへの応用．第 24 回神経行動薬理若手研究者の集い，名古屋，2015.3.17.

林若穂，小野樹郎，高橋辰徳，井上恵理子，成田秀幸，藤平和吉，福田正人：脳動脈瘤クリッピング術後に多彩な精神症状を呈した 1 例．第 103 回東京精神医学会，東京，2015.3.14.

福田正人：統合失調症のリカバリーを脳科学から考えられるか？ 第 4 回 TOPIC 学術講演会（特別講演），徳島，2015.3.6.

福田正人：マルチモダリティ脳機能画像を用いた精神疾患の病態解明および診断ツールの開発．文部科学省・厚生労働省 革新的医療技術創出拠点プロジェクト 平成 26 年度成果報告会－医療イノベーション創出ネットワークの現状と展望：新しいフェーズに入ったアカデミアのシーズ開発，東京，2015.3.6.

福田正人：「地域包括ケアシステム時代の地域精神医療」について（指定発言）．第 11 回 今後の精神科医療を語る会，東京，2015.2.27.

福田正人：光トポグラフィー検査－抑うつ症状の鑑別診断補助．第 10 回 愛媛 CNS 研究会（特別講演），松山，2015.2.21.

福田正人：精神疾患の検査．検査部との意見交換，前橋，2015.2.18.

福田正人，藤原和之，武井雄一，青山義之，成田耕介：統合失調症の single-subject study の現状．精神・神経疾患研究委託費 24-1 統合失調症の診断・治療法の開発に関する研究Ⅱ 平成 26 年度 研究報告会，東京，2015.2.8.

福田正人：「光トポグラフィー検査による抑うつ症状の鑑別診断補助」－精神疾患診療の現状と臨床検査実用化の意義．日本学術振興会・生体ひかりイメージング技術と応用第 185 委員会 2014 年度 第 2 回研究会，東京，2015.2.7.

福田正人：MRS による GABA 濃度測定と MEG による γ 波測定にもとづく統合失調症の GABA 神経障害仮説についての in vivo 研究．SCBR FORUM 2015，東京，2015.1.31.

■2014年■

福田正人：人文科学・社会科学と神経化学・臨床医学の連携による総合人間科学の創出と人材育成に向けて（指定発言）．包括型脳科学研究推進ネットワーク・冬のシンポジウム 新学術領域研究「共感領域」「自己制御精神領域」合同若手育成シンポジウム，東京，2014.12.13.

福田正人，武井雄一，須田真史，桜井敬子，石毛陽子，青山義之，高橋啓介，成田耕介：精神疾患における対人関係の脳基盤についての NIRS 研究．精神・神経疾患研究委託費 26-3「精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコピー（NIRS）の有用性に関する研究」平成 26 年度 研究報告会，東京，2014.12.10.

福田正人：身近なうつ．群馬大学医学部附属病院・ボランティア懇談会講演会，前橋，2014.12.8.

福田正人：うつ病の基礎知識．群馬県・群馬県医師会 平成 26 年度「群馬県かかりつけ医うつ病対応力向上研修会」，前橋，2014.12.7.

小野樹郎，三浦あやか，高橋辰徳，齊藤良，青山義之，成田秀幸，亀山正樹，藤平和吉，福田正人：徐放性製剤の大量服薬のため精神科入院後に急性薬物中毒症状を呈した症例．第 24 回日本総合病院精神医学会総会，つくば，2014.11.29.

田川みなみ，武井雄一，山口実穂，藤原和之，鈴木雄介，茂木智和，笠木真人，成田耕介，福田正人：ヒト安静時 MEG の前部帯状回における γ 帯域活動と MRS による GABA 濃度の関連について．第 44 回 日本臨床神経生理学会学術大会，福岡，2014.11.19.

福田正人：精神疾患の臨床検査実用化の意義（シンポジウム 6：NIRS 検査を精神医療に役立てるには）．第 44 回 日本臨床神経生理学会学術大会，福岡，2014.11.19.

福田正人：高次脳機能障害とリカバリー．平成 26 年度 伊勢崎市自発的活動支援事業「障害者の地域での生活を考える」～障害を自信に変える、今の僕だからできること～

GOMA 講演会&ライブ，伊勢崎，2014.11.13.

Ono H, Imai H, Miyawaki S, Miyata S, Nakatomi H, Mikuni M, Fukuda M, Saito N : Development of the rat depression model related to selective white matter injury: Possible aspect of depression related to selective white matter injury. Neuroscience 2014, Washington DC, USA, 2014.11.15-19.

Miyata S, Kurachi, M, Sakurai N, Takahashi K, Yamagata H, Matsuo K, Narita K, Fukuda M, Ishizaki Y, Mikuni M : Identical blood biomarkers in late-onset major depressive disorder patients and model mice. Neuroscience 2014, Washington DC, USA, 2014.11.15-19.

福田正人：光トポグラフィー検査について．第2回 国立精神・神経疾患研究センター病院 光トポグラフィー検査講習会，東京，2014.10.25.

福田正人：うつ病の早期発見一かかりつけ医だからできる自殺予防．高崎市医師会 平成26年度第13回学術講演会（産業医認定），高崎，2014.10.16.

Tagawa M, Takei Y, Fujihara K, Suzuki Y, Sakurai N, Kasagi M, Yamaguchi M, Motegi T, Aoyama Y, Narita K, Hironaga N, Ujita K, Tobimatsu S, Near J, Fukuda M : The relationship between neurotransmitters and neural oscillation during resting state : a combined magnetic resonance spectroscopy and magnetoencephalography study. 19th International Conference on Biomagnetism, Halifax, Canada, 2014.8.24-28.

Motegi T, Takei Y, Fujihara K, Suzuki Y, Aoyama Y, Sakurai N, Tagawa M, Yamaguchi M, Narita K, Hironaga S, Tobimatsu S, Near J, Fukuda M : The relationship between neurotransmitters and neural oscillation during working memory task: a combined magnetic resonance spectroscopy and magnetoencephalography study. 19th International Conference on Biomagnetism, Halifax, Canada, 2014.8.24-28.

福田正人：精神疾患の理解と自殺予防一人でできること、社会ができること．こころのケア・スキルアップ研修会 第2回（群馬県看護協会 自殺防止対策研修会），前橋，2014.8.8.

Fukuda M, Takei Y, Suda M : Interactive brains in real-world: near-infrared studies of conversation (Session: Real-world application). BESETO 2014, 東京，2014.7.25.

福田正人：日常生活機能を支える認知機能（シンポジウム：SSTの魅力を生かし、伝えていくために）．第20回 SST 普及協会全国経験交流ワークショップ，前橋，2014.7.25.

高橋辰徳，小野樹郎，三浦あやか，齊藤良，青山義之，藤平和吉，福田正人：一般救急医からのコンサルトにどう応じるかーある大量服薬事例を通じた学んだこと．第101回東京精神医学会，東京，2014.7.19.

福田正人：心の健康社会と精神保健福祉ボランティアの役割．第14回 精神保健福祉

ボランティア全国大会 in 群馬, 伊香保, 2014.6.27.

福田正人：精神科医の「特権」に気づき役立てる（教育講演1）. 第110回 日本精神神経学会学術総会, 横浜, 2014.6.26.

福田正人：リカバリーと脳科学. 新潟精神科リハビリテーション研究会・第19回研修会（教育講演）, 新潟, 2014.6.8.

福田正人：脳と生活と人生から考える精神医学. 日本精神神経学会 専門医制度 生涯教育研修会, 前橋, 2014.6.7.

茂木智和, 武井雄一, 青山義之, 桜井敬子, 田川みなみ, 山口美穂, 成田耕介, 福田正人：NIRSを用いた高齢うつ病と若年うつ病の検討. 第39回群馬精神医学会, 前橋, 2014.6.7.

武井雄一, 藤原和之, 田川みなみ, 笠木真人, 茂木智和, 高橋由美子, 鈴木雄介, 山口実穂, 廣永成人, 飛松省三, 成田耕介, 福田正人：クロスフリークエンシーカップリングの精神疾患への応用と最近の話題. 第29回日本生体磁気学会, 大阪, 2014.5.30.

福田正人：心も体も健康な社会のために精神保健福祉協会ができること. 平成26年度群馬県精神保健福祉協会講演会, 前橋, 2014.5.29.

福田正人：うつ病の話. 第13回 群馬県診療情報ネットワーク勉強会, 前橋, 2014.5.22.

福田正人：かかりつけ医ができる自殺予防. 高崎市医師会 平成25年度第18回学術講演会, 高崎, 2014.3.26.

三浦あやか, 小野樹郎, 齊藤良, 藤平和吉, 酒井努, 櫻井剛志, 福田正人：他害行為により措置入院となったHIV感染症による症状精神病の一例. 第100回東京精神医学会, 東京, 2014.3.15.

福田正人：薬物療法とリカバリー（サテライトシンポジウム リカバリーをすすめる）. 第9回 日本統合失調症学会, 京都, 2014.3.15.

田川みなみ, 藤原和之, 笠木真人, 茂木智和, 鈴木雄介, 高橋啓介, 青山義之, 武井雄一, 成田耕介, 福田正人：ヒト安静時MEGの前部帯状回における γ 帯域活動とMRSによるGABA濃度の関連について. 第16回日本ヒト脳機能マッピング学会, 仙

台, 2014.3.6.

福田正人：統合失調症の脳の仕組みとリハビリ。精神医学アドバンスフォーラム，東京，2014.3.2.

田川みなみ，武井雄一，山口実穂，藤原和之，鈴木雄介，須田真史，成田耕介，福田正人：ヒト安静時 MEG の前部帯状回における γ 帯域活動と MRS による GABA 濃度の関連について。第 16 回日本ヒト脳機能マッピング学会，仙台，2014.3.6.

福田正人：統合失調症の臨床（教育講演）。新学術領域「マイクロ精神病態」若手交流研究会，磯部，2014.2.13.

福田正人：リハビリを脳科学から考える（学術講演）。PPST 研究会 全国ブロック幹事会，東京，2014.2.9.

福田正人：光トポグラフィー検査の現状と展望。第 1 回 光トポグラフィー検査先進医療ワークショップ，東京，2014.2.1.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」。第 16 回 大阪臨床精神医学研究会，大阪，2014.1.18.

福田正人：家族ができること、これからの家族会—「家族が支える」から「家族を支える」へ。群馬県精神障害者家族会連合会 研修会，前橋，2014.1.16.

■2013年■

福田正人：群馬県の精神科医療の展望第15回 群馬県精神神経科診療所協会例会（学術講演会・特別講演），前橋，2013.12.7.

山崎彩子，宮崎靖子，山下由美，天川恵子，千明和泉，柳澤雅江，服部卓，斉藤良，藤平和吉，福田正人：精神科病棟において終末期がん看護を行った一例．第26回 日本総合病院精神医学会，京都，2013.11.30.

柳澤雅江，松下文子，斉藤京子，山崎敦子，前原恵美子，林幸恵，河村恵美，服部卓，小野樹郎，斉藤良，藤平和吉，高橋啓介，青山義之，福田正人：当院における身体拘束実施状況とその背景に関する評価／検討の報告．第26回 日本総合病院精神医学会，京都，2013.11.30.

福田正人，須田真史，武井雄一，山口実穂，桜井敬子，成田耕介：NIRS から見た双極性障害．第12回 Bipolar Disorder 研究会，東京，2013.11.30.

福田正人：医療の中で見えてくるニーズー生活と脳科学の視点から：機能回復や障碍の中から希望をどう見出していくのかを考える（学会シンポジウム：私たちはニーズとどう向き合うのかーそれぞれの視点からの協働を目指してー）．第21回 日本精神障害者リハビリテーション学会，沖縄，2013.11.29.

福田正人：「生活と脳」について統合失調症から学んだこと．第12回 東信精神科治療研究会（特別講演），上田，2013.11.20.

福田正人：「こころの健康社会」と自殺予防．高崎市自殺予防フォーラム（基調講演），高崎，2013.11.17.

福田正人：NIRS データの特徴と波形判読の基礎．第2回 NCNP 光トポグラフィー判読セミナー，東京，2013.11.16.

須田真史，武井雄一，青山義之，桜井敬子，成田耕介，福田正人：NIRS を用いた対人会話場面中の脳機能モニタリング（シンポジウム3）．第43回 日本臨床神経生理学会学術大会，高知，2013.11.8.

福田正人：Real-world neuroimaging しての NIRS の意義（教育講演 12・後半）．第43回 日本臨床神経生理学会学術大会，高知，2013.11.8.

Kasagi M, Fujihara K, Kogure W, Motegi T, Takei Y, Suda M, Suzuki Y, Tagawa M, Sakurai N,

Narita K, Fukuda M : Relationship of structural and resting functional MRI with gambling task performance in human brain reward systems of adolescents and adults. International Symposium of Adolescent Brain & Mind and Self-regulation, Tokyo, 2013.10.27.

Fukuda M, Suda M, Takei Y, Sakurai N, Yamaguchi M, Aoyama Y, Takahashi K, Narita K : Real-world Neuroimaging in Psychiatry using Near-infrared Spectroscopy (Symposium 2: Cognition and Emotion in Schizophrenia and Mood Disorders: Findings from Lab and Real-World). The 15th Anniversary Meeting of Korean Society for Schizophrenia Research “New Horizons of Schizophrenia”, Seoul, 2013.10.25.

田川みなみ, 小野樹郎, 斉藤良, 青山義之, 藤平和吉, 福田正人 : 閉塞性肥大型心筋症を合併した遅発性緊張病の患者に対し電気治療を施行した 1 例. 第 99 回東京精神医学会, 東京, 2013.10.12.

福田正人 : 光トポグラフィーについて. 第 4 回 国立精神・神経疾患研究センター病院光トポグラフィー講習会, 東京, 2013.9.28.

福田正人 : 脳科学の発展と精神疾患 (教育講演 III). 第 60 回 北関東医学会総会, 前橋, 2013.9.27.

福田正人 : こころの健康づくりへの新たなチャレンジャー心やすらぐ社会を目指して. 第 44 回 日本看護学会・精神看護・学術集会, 前橋, 2013.9.19.

福田正人 : 心理現象・精神疾患の脳機能と近赤外線スペクトロスコピー NIRS. 神経変性疾患コンソーシアム J-CAN, 東京, 2013.8.31.

福田正人 : これからの精神医療と製薬会社 MR のあり方. 大日本住友製薬・東日本精神領域営業部・社内研修, 東京, 2013.8.29.

福田正人 : どんなスタッフにもできるリカバリー志向サービスのために (シンポジウム : リカバリー志向サービスへの転換—当事者参加による支援サービスの意思決定) . リカバリー全国フォーラム 2013, 東京, 2013.8.20.

福田正人 : 光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助 (先進医療の紹介).

第 4 回 群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会, 前橋, 2013.7.18.

福田正人, 須田真史, 武井雄一, 山口実穂, 桜井敬子, 成田耕介 : 精神疾患についての臨床応用の現状 (シンポジウム 2 : NIRS の最前線). 第 15 回 日本ヒト脳機能マッ

ピング学会，東京，2013.7.5.

舟根司，佐藤大樹，八幡憲明，滝沢龍，西村幸香，木下晃秀，桂卓成，敦森洋和，福田正人，笠井清登，小泉英明，木口雅史：fMRI との同時計測による NIRS 信号の深部、浅部成分分離手法の評価. 第 15 回 日本ヒト脳機能マッピング学会，東京，2013.7.6.

佐藤利正，成田秀幸，武井雄一，須田真史，桜井敬子，山口実穂，成田耕介，福田正人，三國雅彦：近赤外線スペクトロスコーピー（NIRS）を用いた広汎性発達障害の前頭葉機能についての検討. 第 15 回 日本ヒト脳機能マッピング学会，東京，2013.7.6.

Sato T, Narita H, Takei Y, Suda M, Sakurai N, Yamaguchi M, Narita K, Fukuda M, Mikuni M : Frontal lobe dysfunction in pervasive developmental disorder revealed by multichannel near-infrared spectroscopy (NIRS) (P-26-016). The 11th World Congress of Psychiatry, Kyoto, 2013.6.27.

Suda M, Takei Y, Kawasaki S, Sakurai N, Narita K, Fukuda M, Mikuni M : Two brain coherence during face-to-face conversation: near infrared spectroscopy study (P-26-017). The 11th World Congress of Psychiatry, Kyoto, 2013.6.27.

Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Narita K, Sakurai N, Yamaguchi M, Kameyama M, Fukuda M, Mikuni M : Hemodynamic changes of psychiatric diseases during a face-to-face conversation (P-26-010). The 11th World Congress of Psychiatry, Kyoto, 2013.6.27.

Fukuda, M : Real-world neuroimaging in psychiatry using near-infrared spectroscopy (Satellite Symposium SA-05: Schizophrenia as a disorder of adolescent mind and self-regulation). The 11th World Congress of Psychiatry, Kyoto, 2013.6.25.

武井雄一，廣永成人，山口実穂，成田耕介，藤原和之，鈴木雄介，須田真史，飛松省三，福田正人：ワーキングメモリーとオシレーション解析. 第 28 回日本生体磁気学会（シンポジウム），新潟，2013.6.7.

福田正人：症例報告の意義と書き方—苦手だが辛うじて執筆した経験から（ワークショップ 11：精神医学論文の評価と書き方）. 第 109 回 日本精神神経学会 学術総会，福岡，2013.5.24.

福田正人：一人でできること、社会ができること. 新潟市精神障害者家族会・家族のつどい，新潟，2013.05.19.

福田正人：「専門家」がようやく学んだこと（シンポジウム1：統合失調症患者に学んだこと・指定発言）。第8回日本統合失調症学会，浦河，2013.4.19.

福田正人：精神疾患の診断と治療のポイント。臨床精神医学レクチャーシリーズ，福島，2013.3.7.

福田正人：障害の理解とコミュニケーション支援。群馬県ホームヘルパー協議会研修会，前橋，2013.2.24.

■2012年■

福田正人：みんなで考えよう、こころの健康－ひとりでできること、社会ができること。第15回群馬県作業療法学会（特別講演），前橋，2012.12.9.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」。第31回 栃木気分障害研究会（特別講演），宇都宮，2012.11.21.

福田正人：NIRS データの特徴と波形判読の基礎。第2回 NCNP 光トポグラフィー判読セミナー，東京，2012.11.17.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」。第4回 Chiba Mood Disorder Seminar（特別講演），幕張，2012.11.1.

福田正人：こころの健康社会－ひとりでできること 社会ができること。群馬県障害政策課・群馬県精神障害者社会復帰協議会 群馬県地域自殺対策緊急強化事業・連続講座 平成24年度 第1回自殺予防研修会，高崎，2012.10.31.

福田正人：みんなで考えよう こころの健康－一人でできること 社会ができること。横浜市精神障害者家族連合会・第18回市民メンタルヘルス講座，横浜，2012.10.24.

福田正人：健康を守る住居－住み心地の良さと脳科学。応用脳科学コンソーシアム・応用脳科学 R&D 研究会 第1回 ニューロアーキテクチャー研究会，東京，2012.10.10.

福田正人：みんなで考えよう こころの健康－一人でできること 社会ができること。須坂市・こころの健康づくり講座，須坂，2012.10.7.

福田正人：住み心地の良さを脳画像で明らかにできるか？ 平成24年度第一回医工連携研究会，前橋，2012.10.1.

福田正人，武井雄一，青山義之，上原徹，三國雅彦：うつ病はどこまで客観化できるのか（シンポジウム5：うつ病のイメージングバイオマーカー（NIRS））。第34回 日本生物学的精神医学会，神戸，2012.9.28.

福田正人，青山義之，武井雄一，上原徹，三國雅彦：NIRS の原理と先進医療の制度（シンポジウム10：NIRS の基礎と限界－症例を中心に）。第34回 日本生物学的精神医学会，神戸，2012.9.28.

福田正人：NIRS の精神疾患への臨床応用の現状．電子情報技術産業協会 JEITA 平成 24 年度 第 3 回 医療エレクトロニクスデバイス技術分科会，東京，2012.9.20.

福田正人：光トポグラフィーについて．第 3 回 国立精神・神経医療研究センター病院 光トポグラフィー講習会，東京，2012.9.8.

福田正人：最近の精神保健・医療改革の動向．群馬精神障害者社会復帰協議会，前橋，2012.8.17.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」．第 9 回北信精神科医会学術講演会（特別講演），長野，2012.8.8.

福田正人：研究が当事者の well-being につながる道筋—今後の若手に行って欲しい研究（教育講演）．第 4 回 若手研究者交流会，東京，2012.7.21.

福田正人：うつ病の理解と接し方．多野藤岡地域リハビリテーション研究会・アセスメント研修会，藤岡，2012.7.11.

福田正人：精神疾患への臨床応用の現状（パネルディスカッション：NIRS の光と影—NIRS 信号の起源と応用への問題点）．第 14 回日本ヒト脳機能マッピング学会，札幌，2012.7.6.

佐藤大樹，舟根司，八幡憲明，滝沢龍，桂卓成，木口雅史，小泉英明，福田正人，笠井清登：光トポグラフィと fMRI の同時計測による言語流暢性課題に伴う前頭部血行動態変化の検討．第 14 回日本ヒト脳機能マッピング学会，札幌，2012.7.6.

福地英彰，鈴木雄介，斉藤良，酒井努，藤平和吉，福田正人，三國雅彦：うつ病の再燃が疑われたが，病状の進行に伴って前頭側頭型認知症への進行が示唆された一例．第 38 回群馬精神医学会，前橋，2012.6.30.

斉藤良，酒井努，藤平和吉，高橋啓介，福田正人，三國雅彦：クロザピンが奏功し維持電気けいれん療法から離脱できた治療抵抗性統合失調症の 1 例．第 38 回群馬精神医学会，前橋，2012.6.30.

鈴木雄介，藤原和之，成田耕介，武井雄一，青山義之，岡野美子，福田正人，三國雅彦：

3 テスラー MRI 撮像法および画像解析—当科での取り組み．第 38 回群馬精神医学会，前橋，2012.6.30.

池田優子，成田耕介，亀山正樹，福田正人，三國雅彦：リチウム中毒後に非可逆的な小脳症状を呈した一例－Voxel-based morphometry による検討．第 38 回群馬精神医学会，前橋，2012.6.30.

福田正人：統合失調症の薬と脳と生活．埼玉県中央地区精神科学術講演会（特別講演），さいたま，2012.6.27.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」．第 252 回 富山県精神科医学会学術講演会（特別講演），富山，2012.6.22.

福田正人：生活と認知と精神と脳．第 108 回 日本精神神経学会学術総会（シンポジウム 39：社会生活の向上を目指す SST－認知機能障害に焦点を当てて・指定発言），札幌，2012.5.26.

福田正人：臨床神経生理学から見た精神疾患の病態生理．第 108 回 日本精神神経学会学術総会（教育講演 6），札幌，2012.5.24.

福田正人：ユースメンタルヘルス講座の今後への期待．東京大学医学系研究科ユースメンタルヘルス講座 成果報告会，東京，2012.5.18.

福田正人：専門家でないスタッフが日常診療の中でできること（サテライトシンポジウム I：心理社会的治療を実施できる体制を作るために－スタッフの教育）．第 7 回日本統合失調症学会，名古屋，2012.3.16.

武井雄一，須田真史，青山義之，山口美穂，桜井敬子，成田耕介，福田正人，三國雅彦：統合失調症における下前頭回と側頭葉の機能異常－自然な会話時の NIRS による検討．第 7 回日本統合失調症学会，名古屋，2012.3.16.

滝沢龍，福田正人，川崎真護，笠井清登，三村將，中込和幸，朴盛弘，野田隆政，丹羽真一，岡崎祐士：うつ症状を呈する統合失調症・気分障害の鑑別診断補助の試み－光トポグラフィーを用いた臨床検査の実用化の検討．第 7 回日本統合失調症学会，名古屋，2012.3.16.

福田正人：統合失調症の臨床こそが脳科学の最先端．第 4 回城東プシケフォーラム，東京，2012.2.17.

福田正人：医療保護入院とはどういうことなのか？－厚労省での見直しの現状も含めて．

4 回群馬司法精神医学・医療懇話会，前橋，2012.2.10.

田川みなみ，青山義之，酒井努，栗田澄江，福田正人，三國雅彦：てんかん型もやもや病・側頭葉てんかん・心因性発作の鑑別に苦慮した一例．第 36 回群馬てんかん懇話会，前橋，2012.2.3.

福田正人：心理現象・精神疾患への NIRS の応用．日本分光学会・近赤外分光部会・第 7 回シンポジウム，東京，2012.1.23.

■座長（2002年～2012年）■

第24回日本生物学的精神医学会，さいたま，2002.4.10-12.（口演：精神分裂病(3)）

The 12th World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29. (Section Symposium: Near-infrared spectroscopy in psychiatry)

The 4th Asian and Oceanian Epilepsy Congress, Karuizawa Nagano, 2002.9.11-14. (Poster Session: Clinical research (EEG, Syndrome))

第33回日本臨床神経生理学会学術大会，2003.10.1-3.，旭川。（脳機能イメージング 6）

第23回日本精神科診断学会，2003.10.30-31.，宇都宮。（生物学的マーカー 4）

第6回日本ヒト脳機能マッピング学会大会，東京，2004.3.21-22.（一般講演 12 NIRS）

第100回日本精神神経学会総会，札幌，2004.5.20-22.（統合失調症・薬物療法(1)）

第34回日本臨床神経生理学会学術大会，東京，2004.11.17-19（近赤外線脳機能マッピング：臨床応用の実際）

SST普及協会 第9回学術集会，宇都宮，2004.12.3-4（評価・アセスメント）

第7回日本ヒト脳機能マッピング学会，東京，2005.3.19-20.（シンポジウムⅢ 光脳機能イメージングの応用）

第101回日本精神神経学会，さいたま，2005.5.18-20.（感情病②）

第3回光脳機能イメージング研究会，東京，2005.5.28.（一般演題 2）

The 8th World Congress of Biological Psychiatry, Vienna, 2005.6.27.-7.3.(Symposium S-048: Near-Infrared Spectroscopy in Psychiatry -a New Noninvasive Technology to Monitor Brain Function in Bedside Settings)

第15回日本臨床精神神経薬理学会，東京，2005.10.11-13.（抗うつ薬の augmentation therapy (1)）

第36回日本臨床神経生理学会学術大会，横浜，2006.11.29-12.1.（シンポジウム 11 精神科疾患（統合失調症・うつ病など）への応用はどこまで進んだか）

- 第2回日本統合失調症学会，富山，2007.3.24-25. (認知1)
- 第103回日本精神神経学会，高知，2007.5.17. (精神医学研修コース4：統合失調症の認知機能障害)
- 第7回日本光脳機能イメージング研究会，東京，2007.7.14. (一般演題3)
- 第37回日本臨床神経生理学会学術大会，宇都宮，2007.11.21. (シンポジウム2：NIRSが拓く新しい地平)
- 第37回日本臨床神経生理学会学術大会，宇都宮，2007.11.21. (近赤外線分光法1)
- 第3回日本統合失調症学会，東京，2008.3.14. (シンポジウム1：統合失調症の基本病態仮説)
- 第31回日本神経科学大会，東京，2008.6.9-11. (シンポジウム：統合失調症の病態解明に向けて－異分野からの多彩なアプローチ)
- 第9回日本光脳機能イメージング研究会，東京，2008.7.19.
- 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13 (Symposium 21: Cognitive impairment in schizophrenia: neurobiology and therapeutic intervention).
- 13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting, Tokyo, 2008.10.30.-11.2. (Symposium SY-38 : Near-infrared spectroscopy in psychiatry).
- 第38回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2008.11.12-14. (シンポジウム13：光トポグラフィー)
- SST普及協会 第13回学術集会，前橋，2008.12.12. (ミニレクチャー2：発達障害とSST)
- 第10回日本光脳機能イメージング研究会，大阪，2008.12.13. (教育セミナー)
- 第39回日本臨床神経生理学会学術大会，小倉，2009.11.18. (脳機能イメージング2)
- 第106回日本精神神経学会学術総会，広島，2010.5.20. (シンポジウム10：統合失調法

の思春期病態と早期介入)

第 11 回日本光脳機能イメージング研究会 (大会長), 東京, 2009.7.18.

第 12 回日本光脳機能イメージング研究会 (大会長), 大阪, 2009.12.5.

第 13 回日本光脳機能イメージング研究会, 東京, 2010.7.24. (一般口演)

第 20 回日本臨床精神神経薬理学会・第 40 回日本神経精神薬理学会合同年会, 仙台, 2010.9.16. (スタディグループ 5 : 脳画像から見た精神薬理—マクロとミクロの接点)

第 32 回日本生物学的精神医学会, 小倉, 2010.10.7-9. (シンポジウム 3 : 気分障害研究 UP TO DATE)

第 51 回日本児童青年精神医学会, 前橋, 2010.10.29-30. (シンポジウム 2 : バイオマーカー)

The 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10.28.-11.1.
(Symposium 52 : NIRS application in clinical psychiatry).

第 33 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2011.5.21-2. (ポスターセッション 16)

第 6 回日本統合失調症学会, 札幌, 2011.7.18-9. (ポスターセッション II —生理・画像・認知)

第 108 回 日本精神神経学会学術総会, 札幌, 2012.5.26. (シンポジウム 39 : 社会生活の向上を目指す SST—認知機能障害に焦点を当てて)

第 34 回 日本生物学的精神医学会, 神戸, 2012.9.28. (シンポジウム 10 : NIRS の基礎と限界—症例を中心に)

第 42 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2012.11.8. (シンポジウム 7 : NIRS を用いた精神疾患研究)

第 32 回 日本精神科診断学会, 沖縄, 2012.11.23. (シンポジウム 4 : 補助診断としての NIRS)

■2011年■

福田正人：統合失調症の脳機能病態と臨床病期（ランチョンセミナー）．第15回日本精神保健予防学会，東京，2011.12.3.

福田正人：波形の読み方の基礎．第1回 NCNP 光トポグラフィー判読セミナー，東京，2011.11.19.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」．第59回 精神科治療研究会（特別講演），青森，2011.11.5.

福田正人，三國雅彦：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」（シンポジウム13：当事者に届く生物学的精神医学研究：バイオマーカーを用いた精神疾患の客観的補助診断法の開発）．第107回日本精神神経学会学術総会，東京，2011.10.26.

渥美委規，須藤哲，高嶺朋三，斉藤良，横手さえ子，青山義之，高橋啓介，結城直也，福田正人，三國雅彦：起床困難、嘔気などの不定愁訴で不登校を呈した側頭葉てんかんの一例．第107回日本精神神経学会学術総会，東京，2011.10.26.

福田正人：光トポグラフィーについて．第2回 NCNP 光トポグラフィー講習会，東京，2011.10.1.

Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Narita K, Noriko S, Fukuda M, Mikuni M: Near-infrared spectroscopy study on frontal and temporal lobe activation in bipolar disorder patients during a face-to-face conversation task. 43rd the European Brain and Behavior Society 43rd Meeting, Barcelona, 2011.9.9-12

武井雄一、須田真史、青山義之、成田耕介、桜井敬子、福田正人、三國雅彦：会話の最中の脳活動—気分障害についての NIRS による検討．第13回日本ヒト脳機能マッピング学会，京都，2011.9.1.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」の実際．第11回 兵庫県精神神経科診療所協会 学術講演会（学術講演 II），神戸，2011.8.6.

福田正人：ひとりでできること、医学ができること、社会ができること．群馬県立精神医療センター・家族会・土曜学校，伊勢崎，2011.7.30.

福田正人：精神疾患の脳とところからの理解．松沢臨床精神医学サマーセミナー 2011，東京，2011.7.28.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」の実際（ハンズオンセミナー1）. 第6回日本統合失調症学会，札幌，2011.7.18.

福田正人，武井雄一，須田真史，青山義之，桜井敬子，石毛陽子，亀山正樹，成田耕介，三國雅彦，上原 徹：光トポグラフィー検査（NIRS）から見たうつ病（シンポジウム5：気分障害の分類に求められる地平）. 第8回 日本うつ病学会，大阪，2011.7.11.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」. 川崎市精神科神経科医会，川崎，2011.06.18.

福田正人：ユースメンタルヘルス講座への期待—生物学的精神医学の立場から. 東京大学医学系研究科ユースメンタルヘルス寄付講座 開講式，東京，2011.5.30.

里村嘉弘，滝沢龍，西村幸香，木納賢，福田正人，笠井清登：NIRS を用いたうつ症状を呈する大うつ病性障害と双極性障害の鑑別診断補助についての追跡検討. 第33回日本生物学的精神医学会，東京，2011.5.22.

福田正人，三國雅彦：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」（連携シンポジウム1：当事者に届く生物学的精神医学研究：バイオマーカーを用いた精神疾患の客観的補助診断法の開発）. 第33回日本生物学的精神医学会，東京，2011.5.22.

滝沢龍，笠井清登，福田正人：ヒト前頭前野の発達と進化（シンポジウム5：進化論と生物学的精神医学の融合）. 第33回日本生物学的精神医学会，東京，2011.5.22.

小池進介，石井礼花，福田正人：脳の働きを目でみてみよう& 震災とこころのケア. 世界脳週間 2011・群馬大学公開講座「脳・神経って何だろう？ - わかりやすく先端研究を紹介」，前橋，2011.4.29.

福田正人，滝沢龍，笠井清登，三國雅彦，心の健康に光トポグラフィー検査を応用する会：NIRS による精神疾患補助診断と先進医療. 第28回日本医学会総会 2011 東京，東京，2011.4.9.

福田正人：社会認知・行動にもとづく自己制御：ヒト・精神疾患を対象とした研究. 新学術領域研究「自己制御精神」こころの脳の科学ワークショップ，東京，2011.3.4.

渥美委規，須藤哲，高嶺朋三，齊藤良，横手さえ子，青山義之，高橋啓介，結城直也，福田正人，三國雅彦：起床困難・嘔気などの不定愁訴で不登校を呈した側頭葉てんかん

の一例. 第 35 回群馬てんかん懇話会, 前橋, 2011.3.4.

福地英彰, 青山義之, 渥美委規, 池田優子, 高嶺朋三, 矢島優, 小野樹郎, 斉藤良, 横手さえ子, 高橋啓介, 福田正人, 三國雅彦: 練炭自殺に伴う間歇型一酸化炭素中毒に対して継続して高圧酸素療法を行った一例. 第 91 回 東京精神医学会学術集会, 東京, 2011.2.19.

渥美委規, 高嶺朋三, 斉藤良, 横手さえ子, 青山義之, 高橋啓介, 結城直也, 福田正人, 三國雅彦: 起床困難、眠気、嘔気などの不定愁訴で不登校を呈した、広汎性発達障害児における側頭葉てんかんの一例. 第 91 回 東京精神医学会学術集会, 東京, 2011.2.19.

福田正人: こころの元気を取り戻そう! -みんなですすめるこころの健康づくり. 第 25 回 こころの県民講座, 前橋, 2011.1.29.

■2010年■

福田正人：こころに薬が効く？－精神科の薬の心理学と脳科学．第12回 福島県精神科臨床研究会，郡山，2010.12.10.

福田正人：光トポグラフィーについて．第1回 国立精神・神経医療研究センター病院光トポグラフィー講習会，東京，2010.12.8.

柳澤雅江，中畷広美，大林恭子，服部卓，高橋啓介，青山義之，結城直也，亀山正樹，福田正人，三國雅彦：群馬大学医学部附属病院における「身体拘束に関するマニュアル」の運用とその課題．第23回日本総合病院精神医学会，東京，2010.11.26-7.

岡野美子，須田真史，武井雄一，服部卓，結城直也，間島竹彦，大須賀英里，米村公江，福田正人，三國雅彦：群馬大学附属病院精神科における外来初診患者統計－リエゾン活動を中心として．第23回日本総合病院精神医学会，東京，2010.11.26-7.

福田正人：地域におけるこころの健康づくり．平成22年度こころのふれあい研修会，前橋，2010.11.28.

福田正人：ひとりのできるこころ、社会ができるこころ．平成22年度世田谷区民精神保健福祉講演会「みんなで考えようこころの健康」，東京，2010.11.27.

福田正人：こころの健康政策構想実現会議－100万人署名について－．群馬県精神障害者社会復帰協議会 研修会，前橋，2010.11.24.

福田正人：先進医療「光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助」の概要．日立メディコ・光トポグラフィ装置ユーザ会，東京，2010.11.13.

福田正人：波形の読み方－「読波」の実際．日立メディコ・光トポグラフィ装置ユーザ会，東京，2010.11.13.

須田真史，武井雄一，青山義之，成田耕介，桜井敬子，福田正人，三國雅彦：対人対面会話課題中の脳活動と自閉症スペクトラム傾向．第40回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2010.11.1-2.

青山義之，須田真史，武井雄一，成田耕介，小野樹郎，斉藤良，亀山正樹，桜井敬子，福田正人，三國雅彦：統合失調症における会話の最中の脳活動のNIRSを用いた検討．第40回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2010.11.1-2.

Fukuda M, Suda M, Takei Y, Aoyama Y, Sato T, Sakurai N, Narita K, Kameyama M, Uehara T, Mikuni M : Near-infrared spectroscopy in psychiatry (Symposium 2 : Use of near-infrared spectroscopy (NIRS)). The 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10.28.-11.1.

Takizawa R, Kasai K, Fukuda M : Near-infrared spectroscopy (NIRS) in psychiatric disorders (Symposium 12 : Physiological abnormalities in psychiatric disease). The 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10.28.-11.1.

Fukuda M, Suda M, Takei Y, Aoyama Y, Sato T, Sakurai N, Narita K, Kameyama M, Uehara T, Mikuni M : Approval of NIRS as the advanced medical technology in psychiatry (Symposium 52 : NIRS application in clinical psychiatry). The 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10.28.-11.1.

Takizawa R, Kasai K, Fukuda M : NIRS application to psychiatric diagnosis and clinical evaluation (Symposium 52 : NIRS application in clinical psychiatry). The 29th International Congress of Clinical Neurophysiology, Kobe, 2010.10.28.-11.1.

福田正人：うつ病の診断と治療。第9回群馬脳機能研究会，前橋，2010.10.13.

武井雄一，須田真史，青山義之，成田秀幸，成田耕介，石毛陽子，服部卓，桜井敬子，亀山正樹，福田正人，三國雅彦：NIRS と MEG による気分障害の研究（シンポジウム3：気分障害研究 UP TO DATE）。第32回日本生物学的精神医学会，小倉，2010.10.7-9.

福田正人：こころの健康政策構想会議と構想実現会議について。群馬つつじ会 平成22年度合同研修会，前橋，2010.9.24.

福田正人，亀山正樹，結城直也，高橋啓介：統合失調症の臨床像（基礎・臨床統合シンポジウム：統合失調症の神経科学）。第33回日本神経科学大会，神戸，2010.9.3.

福田正人：NIRS で捉える脳機能からみた統合失調症の認知の特徴。Astellas CSN Symposium 精神疾患の長期治療を見据えたアプローチ-認知機能に焦点をあてて，東京，2010.8.28.

福田正人：脳機能と SST。第16回 SST 経験交流ワークショップ（特別講演），福島，2010.8.7.

福田正人：これからの精神医療の姿。CNS 倶楽部 2010，東京，2010.7.31.

福田正人：人と仕事。第2回 若手研究者交流会—先達に聞く I 「なぜ精神科医の道を選び、なぜ研究者の道を志したか」, 越後湯沢, 2010.7.3.

福田正人：これからの精神医療。大塚製薬・社内講演会, 高崎, 2010.7.9.

須田真史, 武井雄一, 青山義之, 成田耕介, 桜井敬子, 福田正人, 三國雅彦：対面会話の最中の脳活動と自閉症スペクトラム傾向。第13回日本光脳機能イメージング研究会, 東京, 2010.7.24.

須田真史, 青山義之, 武井雄一, 成田耕介, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦：第二言語の習熟にともなう脳機能変化—近赤外線スペクトロスコピーによる検討。第13回日本光脳機能イメージング研究会, 東京, 2010.7.24.

須田真史, 青山義之, 武井雄一, 成田耕介, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦：第二言語の習熟にともなう脳機能変化—近赤外線スペクトロスコピーによる検討。第12回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2010.6.12.

渥美委規, 成田秀幸, 青山義之, 高橋啓介, 結城直也, 福田正人, 三國雅彦：眠気、嘔気などの不定愁訴を訴えて不登校を呈していた側頭葉てんかんの一例。第37回群馬精神医学会, 前橋, 2010.06.19.

藤原和之, 池田優子, 成田耕介, 青山義之, 高橋啓介, 結城直也, 福田正人, 三國雅彦：レビー小体病に伴うアキネジアに mECT が著効した一例。第37回群馬精神医学会, 前橋, 2010.06.19.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」。CNS Symposium 2010, 東京, 2010.5.29.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」。第132回北信精神科診療所会, 長野, 2010.4.15.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」（うつ病の bipolarity をどう理解するか）。Mood Disorder Forum 2010, 東京, 2010.4.11.

福田正人：統合失調症と双極性障害の病態生理の共通点と相違点（シンポジウム2：統合失調症と双極性障害—共通点と差異から見えてくるもの）。第5回日本統合失調症学会, 福岡, 2010.3.26-27.

青山義之，山岸裕，須田真史，武井雄一，佐藤利正，藤原和之，松川幸英，成田秀幸，桜井敬子，亀山正樹，成田耕介，福田正人，三國雅彦：統合失調症における認知課題時の賦活反応性の性・年齢による影響－近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討．第5回日本統合失調症学会，福岡，2010.3.26-27.

福田正人：心理現象・精神症状についての近赤外線スペクトロスコピィ NIRS. 早稲田大学 応用脳科学研究所・人間総合研究センター共催シンポジウム「応用脳科学研究の展開」，東京，2010.3.20.

■2009年■

福田正人：臨床神経生理からみた病態生理（シンポジウム2：統合失調症は神経発達障害か、神経変性疾患か？）。第4回日本統合失調症学会，大阪，2009.1.30-31.

岡崎祐士，西田淳志，佐々木司，原田誠一，福田正人：統合失調症の未病に見られる症状（シンポジウム3：統合失調症の未病と予防）。第4回日本統合失調症学会，大阪，2009.1.30-31.

青山義之，山岸裕，須田真史，佐藤利正，武井雄一，亀山正樹，成田耕介，福田正人，三國雅彦：統合失調症における認知課題時の賦活反応性と臨床的特徴－近赤外線スペクトロスコープを用いた検討。第4回日本統合失調症学会，大阪，2009.1.30-31.

高嶺朋三，結城直也，亀山正樹，竹吉秀記，福田正人，三國雅彦：当院における修正型電気痙攣療法の施行状況。東京精神医学会 第85回学術集会，所沢，2009.2.28.

佐藤大仁，結城直也，服部卓，亀山正樹，竹吉秀記，毛呂佐代子，溝口健介，福田正人，三國雅彦：9歳発症の統合失調症の小児例。東京精神医学会 第85回学術集会，所沢，2009.2.28.

鈴木雄介，佐藤大仁，結城直也，成田耕介，亀山正樹，竹吉秀記，橋本貢士，福田正人，三國雅彦：精神科入院で診断されたインスリノーマの1例。東京精神医学会 第85回学術集会，所沢，2009.2.28.

福田正人：心理現象・精神疾患と近赤外線スペクトロスコープ NIRS（シンポジウム3：光脳機能イメージングの現在と未来）。第32回日本脳神経 CI 学会総会，京都，2009.3.6.

滝沢龍，笠井清登，福田正人：統合失調症の NIRS 研究（シンポジウム1：統合失調症の神経画像研究・アップデート）。第31回日本生物学的精神医学会，京都，2009.4.23-25.

福田正人：近赤外線スペクトロスコープ NIRS の精神疾患における実用化の試み（シンポジウム10：神経生理検査と精神科臨床）。第31回日本生物学的精神医学会，京都，2009.4.23-25.

福田正人：光トポグラフィー検査の精神疾患への臨床応用（基調講演）。第20回日本外来臨床精神医学会研究会，東京，2009.6.7.

Fukuda M, Suda M, Aoyama Y, Takei Y, Sato T, Kameyama M, Narita K, Uehara T, Mikuni M : Near-infrared spectroscopy in mood disorders (Symposium S-05 : Near-infrared spectroscopy in psychiatry: current status and future prospect). The 9th World Congress of Biological Psychiatry, Paris, 2009.6.28.-7.2.

福田正人：NIRS の特徴を生かした臨床応用と実用化（大会長講演）。第 11 回 日本光脳機能イメージング研究会，東京，2009.7.18.

福田正人：脳機能画像の精神疾患への臨床応用－NIRS を例に。第 5 回 つかばアカデミー・オブ・サイカイアトリー，浅草，2009.7.24.

Fukuda M : Near-infrared spectroscopy (NIRS) in psychiatry. Asia Regional Neuroscience Conference, Tokyo, 2009.7.26.

坂井真梨子，鈴木雄介，高橋啓介，松川幸英，池田優子，三田善士，青山義之，結城直也，亀山正樹，福田正人，三國雅彦，浦野葉子，岡田恭典，村松一洋，田代裕一，小暮佳代子，峯岸敬：卵巣奇形腫に伴い急性に精神病症状を呈した辺縁系脳炎の一例。第 36 回群馬精神医学会，群馬，2009.8.1.

須藤哲，松川幸英，佐藤大仁，武井雄一，結城直也，亀山正樹，上原徹，福田正人，三國雅彦：精神疾患をもつ妊娠症例について。第 36 回群馬精神医学会，群馬，2009.8.1.

藤原和之，須藤哲，青山義之，高橋啓介，結城直也，亀山正樹，福田正人，三國雅彦：一酸化炭素中毒後遺症のリハビリテーションを精神科病棟で実施した一例。第 36 回群馬精神医学会，群馬，2009.8.1.

成田耕介，池田優子，福田正人，三國雅彦：リチウム中毒後に残存した非可逆的小脳症状に関する報告。第 36 回群馬精神医学会，群馬，2009.8.1.

福田正人：近赤外線スペクトロスコピー NIRS の精神疾患における実用化の試み（精神医学研修コース 8：精神科一般診療に必要な神経画像の知識）。第 105 回 日本精神神経学会学術総会，神戸，2009.8.22.

福田正人：心理現象と近赤外線スペクトロスコピー NIRS（ランチョンセミナー 4）。第 33 回 日本神経心理学会総会，東京，2009.9.25.

福田正人：先進医療「うつ症状の光トポグラフィー検査」について。世田谷区精神科治療懇話会，東京，2009.10.6.

福田正人：シンポジウム・群馬県内の刑事精神鑑定および医療観察法鑑定における現状と課題。第 10 回 群馬司法精神医学・医療懇話会，前橋，2009.10.9.

亀山正樹，鈴木雄介，高橋啓介，松川幸英，池田優子，三田善士，青山義之，結城直也，福田正人，三國雅彦，浦野葉子，岡田恭典，村松一洋，田代裕一，小暮佳代子，峯岸敬：卵巣奇形腫に伴い急性に精神病症状を呈した辺縁系脳炎の一例。第 29 回日本精神科診断学会，東京，2009.10.17.

福田正人：プライマリーケアにおける診断治療へのアプローチ—精神科医はどこを見ているのか？（セッション 1—症例提示：総合病院・精神科医の立場から） 第 7 回 群馬 CNS 治療研究会，前橋，2009.10.30.

福田正人：光で見る心—うつ症状についての先進医療（中小企業におけるメンタルヘルスとそれをめぐる諸課題）。第 56 回 精神保健シンポジウム，前橋，2009.10.31.

福田正人：先進医療—精神疾患の光トポグラフィー検査について。エビリファイ発売 3 周年記念講演会，松本，2009.11.6.

福田正人：先進医療「うつ症状のトポグラフィー検査」の実際（ハンズオンセミナー4）。第 39 回日本臨床神経生理学学会学術大会，小倉，2009.11.18.

福田正人：NIRS の特徴を生かして見る前頭葉機能（シンポジウム 14：抑制機能の機能画像）。第 39 回日本臨床神経生理学学会学術大会，小倉，2009.11.18.

須田真史，武井雄一，青山義之，成田耕介，桜井敬子，福田正人，三國雅彦：対面会話の最中の脳活動と自閉症スペクトラム傾向。第 39 回日本臨床神経生理学学会学術大会，小倉，2009.11.18.

武井雄一，須田真史，青山義之，成田秀幸，成田耕介，服部卓，桜井敬子，福田正人，三國雅彦：会話の最中の脳活動—双極性障害についての NIRS による検討。第 39 回日本臨床神経生理学学会学術大会，小倉，2009.11.18.

青山義之，花岡直木，藤原和之，須田真史，佐藤利正，武井雄一，亀山正樹，成田耕介，桜井敬子，福田正人，三國雅彦：反復磁気刺激による対側抑制効果の機器間の差異—NIRS を用いた検討。第 39 回日本臨床神経生理学学会学術大会，小倉，2009.11.18.

福田正人：脳機能画像の精神疾患への臨床応用—近赤外線スペクトロスコピー NIRS を例に（教育講演 3）。第 22 回日本総合病院精神医学会総会，大阪，2009.11.27-28.

鈴木雄介, 高橋啓介, 松川幸英, 池田優子, 三田善士, 青山義之, 結城直也, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦, 浦野葉子, 岡田恭典, 村松一洋, 田代裕一, 小暮佳代子, 峯岸敬 : 卵巣奇形腫に伴い急性に精神病症状を呈した辺縁系脳炎の一例. 第 22 回日本総合病院精神医学会総会, 大阪, 2009.11.27-28.

藤原和之, 須藤哲, 青山義之, 成田耕介, 結城直也, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦 : 一酸化炭素中毒後遺症のリハビリテーションを精神科病棟で実施した一例. 第 22 回日本総合病院精神医学会総会, 大阪, 2009.11.27-28.

■2008年■

平岡敏明, 藤原貴子, 相原雅子, 福田正人, 三國雅彦: 幻覚妄想に基づく希死念慮が顕著であった前頭葉てんかんの一例. 第32回群馬てんかん懇話会, 前橋, 2008.2.8.

福田正人: 統合失調症と脳. 大塚製薬・社内招聘勉強会(第2回), 高崎, 2008.2.12.

福田正人: 近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)のうつ病への臨床応用(教育講演). 第16回 Post stroke depression 研究会, 東京, 2008.3.1.

福田正人: 精神病理と脳. 第6回山陰精神科心療内科研究会, 米子, 2008.4.26.

福田正人: 正常脳波を深読みして精神科臨床に生かす(精神医学研修コース4・脳波判読の実際), 第104回日本精神神経学会総会, 東京, 2008.5.29.

佐藤利正, 須田真史, 伊藤誠, 亀山正樹, 山岸裕, 福田正人, 三國雅彦: 意欲を反映する脳機能変化は性格特徴に応じて異なる—近赤外線スペクトロスコピーによる検討. 第10回日本ヒト脳機能マッピング学会, 山形, 2008.6.6-7.

須田真史, 福田正人, 上原徹, 佐藤利正, 青山義之, 亀山正樹, 三國雅彦: 近赤外線スペクトロスコピーによる摂食障害の脳機能の検討. 第10回日本ヒト脳機能マッピング学会, 山形, 2008.6.6-7.

青山義之, 花岡直木, 亀山正樹, 須田真史, 佐藤利正, 宋明橋, 福田正人, 三國雅彦: 低頻度反復経頭蓋磁気刺激による脳機能変化の刺激強度依存性—近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討. 第10回日本ヒト脳機能マッピング学会, 山形, 2008.6.6-7.

青山義之, 花岡直木, 亀山正樹, 須田真史, 佐藤利正, 宋明橋, 福田正人, 三國雅彦: 感情障害における反復経頭蓋磁気刺激に対する前頭葉機能の反応性低下—NIRSを用いた検討. 第10回日本ヒト脳機能マッピング学会, 山形, 2008.6.6-7.

福田正人: 近赤外線スペクトロスコピー NIRS の精神疾患への応用. 第33回新潟精神医学懇話会, 新潟, 2008.6.17.

池田優子, 結城直也, 亀山正樹, 竹吉秀記, 福田正人, 三國雅彦, 高橋啓介, 相原雅子: 修正型 ECT と塩酸ドネペジルが著効したびまん型レビー小体病の1例. 第35回群馬精神医学会, 前橋, 2008.6.21.

佐藤大仁, 結城直也, 亀山正樹, 毛呂佐代子, 溝口健介, 福田正人, 三國雅彦: 9歳で発症した統合失調症の小児例. 第35回群馬精神医学会, 前橋, 2008.6.21.

毛呂佐代子, 島村利枝, 相原雅子, 安藤直也, 武井雄一, 松川幸英, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦, 榊原通子, 池田茂登子, 篠崎博光, 神谷早絵子, 芦名孝一, 赤田卓志朗: 早期に入院に結びついた身体科・精神科共に治療中断で早急な対応を要すると考えられた妊娠19週の統合失調症事例—精神科救急情報センターにおけるアウトリーチ活動が総合病院リエゾンと地域行政機関との連携にはたす役割とその可能性. 第35回群馬精神医学会, 前橋, 2008.6.21.

佐藤利正, 須田真史, 福田正人, 三國雅彦: 意欲を反映する脳機能変化は性格特徴に応じて異なる—近赤外線スペクトロスコピーによる検討. 第31回日本神経科学大会, 東京, 2008.6.9-11.

滝沢龍, 笠井清登, 福田正人: fNIRSの精神医学・心理学への応用(ワークショップ: 近赤外線NIRS脳機能マッピングの基礎から臨床まで). 第31回日本神経科学大会, 東京, 2008.6.9-11.

Fukuda M, Mikuni M (2008) Future prospect of diagnosis and treatment of psychiatry disorders using near-infrared spectroscopy (Symposium S-14. Monitoring pharmacotherapy in psychiatric disorders: functional neuroimaging and neurophysiological perspectives). The XXVI Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologium, Munich, 2008.7.13-17.

Suda M, Fukuda M, Sato T, Kameyama M, Mikuni M (2008) Frontal lobe function in eating disorders: a multichannel near-infrared spectroscopy study. The XXVI Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologium, Munich, 2008.7.13-17.

福田正人: 心理現象・精神疾患とNIRS(教育講演). 第9回日本光脳機能イメージング研究会, 東京, 2008.7.19.

Kameyama M, Fukuda M, Uehara T, Ida I, Mikuni M: Frontal lobe dysfunction in schizophrenia: a near-infrared spectroscopy study (Symposium 21: Cognitive impairment in schizophrenia: neurobiology and therapeutic intervention). 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13.

Takizawa R, Tochigi M, Kawakubo Y, Marumo K, Sasaki T, Fukuda M, Hashimoto K, Kasai K: Effect of sigma-1 receptor gene polymorphism on prefrontal function in schizophrenia: a NIRS study. 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13.

須田真史, 上原徹, 佐藤利正, 青山義之, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦: 近赤外線スペクトロスコピーによる摂食障害の脳機能の検討. 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13.

有賀道生, 須田真史, 青山義之, 成田耕介, 亀山正樹, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: 広汎性発達障害の併存症による前頭葉機能の特徴—近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討. 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13.

青山義之, 山岸裕, 須田真史, 佐藤利正, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦: 統合失調症における認知課題時の賦活反応性と臨床的特徴—近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討. 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13.

青山義之, 花岡直木, 亀山正樹, 須田真史, 佐藤利正, 福田正人, 三國雅彦: rTMSによる刺激強度依存性の脳機能変化および感情障害での前頭葉機能の反応性低下—NIRSを用いた検討. 2nd WFSBP Asia-Pacific Congress and 30th Annual Meeting of JSBP, Toyama, 2008.9.11-13.

福田正人: 統合失調症の診断と治療への近赤外線スペクトロスコピー NIRS の応用 (シンポジウム7: 統合失調症治療への新しい視点). 第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同年会, 東京, 2008.10.1-3.

亀山正樹, 井上かりん, 福田正人, 三國雅彦: 磁気センサー型指運動モニタ装置による精神疾患の病状評価および向精神薬副作用の定量評価の可能性. 第18回日本臨床精神神経薬理学会・第38回日本神経精神薬理学会合同年会, 東京, 2008.10.1-3.

青山義之, 山岸裕, 須田真史, 佐藤利正, 武井雄一, 亀山正樹, 成田耕介, 福田正人, 三國雅彦: 統合失調症における認知課題時の賦活反応性と臨床的特徴—近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討. 第28回日本精神科診断学会, 札幌, 2008.10.10-11.

須田真史, 福田正人, 上原徹, 佐藤利正, 青山義之, 三國雅彦: 近赤外線スペクトロスコピーによる摂食障害の脳機能の検討. 第28回日本精神科診断学会, 札幌, 2008.10.10-11.

Suda M, Fukuda M, Uehara T, Sato T, Aoyama Y, Mikuni M: Frontal lobe function in eating disorders: a multichannel near-infrared spectroscopy study. 13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting, Tokyo, 2008.10.30.-11.2.

滝沢龍，栃木衛，丸茂浩平，川久保友紀，佐々木司，福田正人，笠井清登：統合失調症における神経伝達物質関連遺伝子多型と前頭葉機能障害との関連－多チャンネル NIRS 研究. 第 38 回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2008.11.12-14.

青山義之，花岡直木，須田真史，佐藤利正，亀山正樹，福田正人，三國雅彦：感情障害における反復経頭蓋磁気刺激に対する反応性の差異－NIRS を用いた検討. 第 38 回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2008.11.12-14.

青山義之，山岸裕，須田真史，佐藤利正，武井雄一，亀山正樹，成田耕介，福田正人，三國雅彦：統合失調症における認知課題時の賦活反応性と臨床的特徴－近赤外線スペクトロスコープを用いた検討. 第 38 回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2008.11.12-14.

須田真史，福田正人，上原徹，佐藤利正，青山義之，亀山正樹，三國雅彦：近赤外線スペクトロスコープによる摂食障害の脳機能の検討（シンポジウム 13：光トポグラフィ）. 第 38 回日本臨床神経生理学会学術大会，神戸，2008.11.12-14.

■2007年■

福田正人：統合失調症における脳機能・認知機能評価の実用化についての臨床研究。
第3回統合失調症研究会，東京，2007.2.10.

竹吉秀記，間島竹彦，福田正人，三國雅彦：悪性症候群後に難治性てんかん発作重積状態を生じた症例。第31回群馬てんかん懇話会，前橋，2007.2.16.

佐藤利正，須田真史，山岸裕，伊藤誠，福田正人，三國雅彦：近赤外線スペクトロスコープを用いた意欲についての研究。第9回日本ヒト脳機能マッピング学会，秋田，2007.3.15-16.

松林淳子，川久保友紀，菅心，加藤正人，武井雄一，福田正人，伊藤憲治，湯本真人，加藤進昌，笠井清登：聴覚性 mismatch 脳磁場と人格特性の関連。第9回日本ヒト脳機能マッピング学会，秋田，2007.3.15-16.

滝沢龍，木納賢，丸茂浩平，川久保友紀，加藤進昌，福田正人，笠井清登：近赤外線スペクトロスコープによる統合失調症とうつ病の前頭前野の機能異常の検討。第2回日本統合失調症学会，富山，2007.3.24-25.

福田正人：統合失調症の認知機能評価をめぐる今後の課題。第2回日本統合失調症学会，富山，2007.3.24-25.

福田正人：精神疾患の診断と治療のポイント。第6回臨床精神医学レクチャーシリーズ，福島，2007.4.27.

福田正人：統合失調症における認知機能障害の意義（精神医学研究コース4：統合失調症の認知機能障害）。第103回日本精神神経学会，高知，2007.5.17.

大嶋明彦，高橋啓介，佐藤大仁，酒井努，青山義之，福田正人，三國雅彦：うつ病とHPA系—最近のトピックから。躁うつ病懇話会，広島，2007.6.16.

須田真史，上原徹，伊藤誠，佐藤利正，福田正人，三國雅彦：摂食障害の前頭葉機能の検討—近赤外線スペクトロスコープを用いて。第29回日本生物学的精神医学会，札幌，2007.7.11-13.

福田正人：精神現象・精神疾患への光脳機能イメージングの応用。第12回認知神経科学会，福岡，2007.7.21-22.

須田真史, 上原徹, 伊藤誠, 佐藤利正, 福田正人, 三國雅彦: 摂食障害の前頭葉機能の検討—近赤外線スペクトロスコピーを用いて. 第 30 回日本神経科学大会, 横浜, 2007.9.10-12.

福田正人: 統合失調症の脳機能指標と抗精神病薬. 第 28 回 ヒューマンサイエンス総合研究セミナー「統合失調症治療薬の創薬を考える」, 東京, 2007.9.28.

福田正人: 精神病理と精神療法に学ぶ脳科学—脳研究の舞台裏. 日本精神病理・精神療法学会 第 30 回大会・ランチョンセミナー, 倉敷, 2007.10.5.

福田正人: シンポジウム 1「精神科診断学はどこへ向かう—DSM-V と ICD-11 の動きを読む」統合失調症. 第 27 回 日本精神科診断学会, 徳島, 2007.10.12.

須田真史, 上原徹, 亀山正樹, 佐藤利正, 福田正人, 三國雅彦: 近赤外線スペクトロスコピー (NIRS) を用いた摂食障害の脳機能の検討. 第 3 回日本摂食障害学会, 京都, 2007.10.20-21.

亀山正樹, 井上かりん, 福田正人, 三國雅彦: 磁気センサー型指運動モニタ装置による精神疾患の病状評価および向精神薬副作用評価の可能性. 第 2 回新しい運動機能解析研究会, 東京, 2007.11.16.

宋明橋, 須田真史, 佐藤利正, 亀山正樹, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: 中国語版の言語流暢性課題の確立—近赤外線スペクトロスコピーによる前頭葉賦活の検討. 第 37 回日本臨床神経生理学会学術大会, 宇都宮, 2007.11.21.

須田真史, 上原徹, 佐藤利正, 宋明橋, 亀山正樹, 福田正人, 三國雅彦: 近赤外線スペクトロスコピーによる摂食障害の脳機能の検討. 第 37 回日本臨床神経生理学会学術大会, 宇都宮, 2007.11.21.

福田正人: 光トポグラフィ装置による臨床検査法の標準化に向けて—前頭葉機能についてのハンズオン. 第 37 回日本臨床神経生理学会学術大会, 宇都宮, 2007.11.21., イブニングセミナー3

福田正人: 統合失調症の寛解と治癒 (シンポジウム・精神疾患はどこまでよくなるか—寛解をめぐる) 平成 19 年度 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費精神疾患関連班 第 17 回合同シンポジウム, 東京, 2007.12.11.

福田正人: 精神生理・認知機能からみた統合失調症の疾患概念・下位分類 (ICD・DSM 診断基準の改訂の動向). 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「統合失調症治療のガイ

ドラインの作成とその検証に関する研究」平成 19 年度報告会，東京，2007.12.11.

福田正人，上原徹，三國雅彦：NIRS 研究の多施設共同プロジェクトの現状．厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費「脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究」平成 19 年度研究報告会，東京，2007.12.12.

福田正人：職場におけるメンタルヘルスの増進について．前橋地方法務局講演，前橋，2007.12.19.

■2006年■

福田正人：NIRS の精神科的研究への応用。「脳科学と障害のある子供の教育に関する研究」講演会，神奈川（国立特殊教育総合研究所），2006.3.15.

福田正人：精神疾患への近赤外線スペクトロスコピー NIRS の応用．東京医科歯科大学・特別講義，東京，2006.3.16.

福田正人：うつ病を知ろうー見逃さないで身近な病気・そのサイン．伊勢崎市「こころの健康講演会」，伊勢崎市，2006.3.20.

福田正人：画像・生理学的病態研究の焦点（記念シンポジウム：統合失調症研究の焦点）．第1回日本統合失調症学会，東京，2006.3.21.

福田正人：近赤外線スペクトロスコピーによる脳機能計測の精神疾患への応用．第83回日本生理学会 ランチョンセミナー「脳機能計測の基礎と精神疾患への応用」，前橋，2006.3.30.

福田正人：NIRS による簡易脳機能計測．公開国際シンポジウム「意図の伝達に関する学際的国際共同研究の企画」，東京，2006.3.31.

福田正人：こころの病・脳・SST．第2回 SST 初級研修会（群馬 SST 広流会・基調講演），前橋，2006.4.15.

福田正人：気分障害の診断・治療と NIRS．第7回 相模原精神医療研究会，相模原，2006.6.14.

武井雄一，熊野澄江，川久保友紀，服部卓，上原徹，福田正人，笠井清登，三國雅彦：脳磁図 mismatch 成分による気分障害の注意機能の検討．第21回日本生体磁気学会，東京，2006.6.1-2.

福田正人：総論ー日常診療における評価の現状と今後の課題（シンポジウム「精神医学における評価」）．第31回 群馬精神医学会，前橋，2006.6.24.

Oshima A, Linthorst A, Holsboer F, Higuchi T, Sato H, Fukuda M, Mikuni M : CRH and serotonin – Interactions in rodent stress response and beyond (Symposium: CRH function in depressive disorders revised: from genes to bedside). The 25th Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologicum, Chicago, 2006.7.9-13.

福田正人, 上原徹, 三國雅彦: 精神疾患の脳機能と NIRS (シンポジウム SY2-5-10 脳機能光イメージングによる脳機能計測の利点と問題点). 第 29 回日本神経科学大会, 京都, 2006.7.19-21.

滝沢龍, 笠井清登, 栃木衛, 丸茂浩平, 川久保友紀, 菅心, 山末英典, 福田正人, 加藤進昌, 佐々木司: COMT 遺伝子多型 (Val/Met) の統合失調症の前頭葉機能への影響の検討—多チャンネル NIRS 研究. 第 28 回日本生物学的精神医学会, 名古屋, 2006.9.14-17.

武井雄一, 熊野澄江, 川久保友紀, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 笠井清登, 三國雅彦: 脳磁図 mismatch 成分による気分障害の注意機能の検討. 第 28 回日本生物学的精神医学会, 名古屋, 2006.9.14-17.

高橋啓介, 井田逸朗, 熊野大志, 大嶋明彦, 結城直也, 相原雅子, 間島竹彦, 米村公江, 福田正人, 織内昇, 天沼誠, 遠藤啓吾, 松田博史, 三國雅彦: がん患者における抑うつ・不安の発言に関する前方視的な PET 研究. 第 28 回日本生物学的精神医学会, 名古屋, 2006.9.14-17.

上原徹, 須田真史, 伊藤誠, 佐藤利正, 福田正人, 三國雅彦: 摂食障害における前頭葉機能—多チャンネル近赤外線分光法を用いた検討. 第 28 回日本生物学的精神医学会, 名古屋, 2006.9.14-17.

福田正人: こころと認知と脳機能 (シンポジウム: 脳科学と教育—特殊教育に生かす脳科学の新情報). 日本特殊教育学会第 44 回大会, 前橋, 2006.9.16-18.

Suda M, Sato T, Ito M, Kameyama M, Yamagishi Y, Uehara T, Fukuda M, Mikuni M: Frontal lobe function in psychiatric disorders: A multichannel near-infrared spectroscopy study. The 6th International Congress of Neuropsychiatry, Sydney, 2006.9.10-14.

福田正人: 精神医学の立場から (パネルディスカッション「光脳機能イメージングの可能性」). 第 6 回日本光脳機能イメージング研究会, 大阪, 2006.11.25.

福田正人: 近赤外線スペクトロスコピー (NIRS) の精神疾患への応用 (教育講演 31). 第 36 回日本臨床神経生理学会学術大会, 横浜, 2006.11.30.

木納賢, 滝沢龍, 丸茂浩平, 川久保友紀, 山末英典, 加藤進昌, 福田正人, 笠井清登: うつ病における認知課題中の脳血液量変化の特徴と臨床指標との関連—多チャンネル NIRS を用いた検討. 第 36 回日本臨床神経生理学会学術大会, 横浜, 2006.11.29.-12.1.

武井雄一，熊野澄江，川久保友紀，服部卓，上原徹，福田正人，笠井清登，三國雅彦：脳磁図の mismatch 成分を用いた気分障害の注意機能についての検討. 第 36 回日本臨床神経生理学会学術大会，横浜，2006.11.29.-12.1.

■2005年■

福田正人：光で見る心の病ー近赤外線スペクトロスコーピーNIRSの精神疾患への臨床応用. 第11回三重精神医学懇話会, 津, 2005.1.13.

福田正人：うつ病のNIRSを通じた解明. 第6回ムードディスオーダー・カンファレンス, 東京, 2005.3.5.

福田正人：心と脳ー職域メンタルヘルスの経験から. 第1回 職域メンタルヘルス交流会, 前橋, 2005.3.10.

亀山正樹, 山岸裕, 佐藤利正, 須藤友博, 伊藤誠, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦：気分障害の認知・運動課題中の局所脳血液量変化ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピーによる検討. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

滝沢龍, 笠井清登, 工藤紀子, 川久保友紀, 清野絵, 山末英典, 福田正人, 加藤進昌：多チャンネルNIRSを用いた心的ストレス課題遂行時の脳血液量変化の特徴. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

山岸裕, 亀山正樹, 佐藤利正, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦：統合失調症における認知課題時の局所脳血液量変化ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピーによる検討. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

荒木剛, 桐原賢治, 福田正人, 笠井清登：Go/No-go課題における反応教示の事象関連電位への影響. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

武井雄一, 熊野澄江, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦：体性感覚・視覚刺激の処理におよぼす注意の影響についてのMEG研究. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

熊野澄江, 武井雄一, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦：体性感覚と視覚における注意効果と眠気・性格・衝動性の関連についてのMEGによる検討. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

宮城島孝昭, 高橋章夫, 平戸政史, 熊野澄江, 武井雄一, 福田正人, 湯原幸弘, 齋藤延人：中心前回に病変を持つ難治性てんかんの1症例. 第7回日本ヒト脳機能マッピング学会, 東京, 2005.3.19-20.

福田正人, 上原徹, 井田逸朗, 三國雅彦: 精神疾患における前頭葉機能の賦活反応性の特徴—近赤外線スペクトロスコピの臨床応用—. 第 101 回 日本精神神経学会, 埼玉, 2005.5.20. (シンポジウム: 精神疾患のバイオリジカルマーカーの現状と展望)

福田正人: NIRS の精神疾患への応用. 第 46 回 BNM 研究会, 東京, 2005.6.3.

Fukuda M, Uehara T, Ida I, Mikuni M: Multichannel NIRS Study of Schizophrenia and Mood Disorders (Symposium S-048: Near-Infrared Spectroscopy in Psychiatry -a New Noninvasive Technology to Monitor Brain Function in Bedside Settings), The 8th World Congress of Biological Psychiatry, Vienna, 2005.6.27.-7.3.

Fukuda M, Uehara T, Ida I, Mikuni M: Near-infrared spectroscopy (NIRS) of mood disorders (Symposium S-066: New Biological Marker of Mood Disorders), The 8th World Congress of Biological Psychiatry, Vienna, 2005.6.27.-7.3.

Kasai K, Takizawa R, Matsuo K, Fukuda M: Cerebral blood volume changes associated with cognitive activation in schizophrenia: a NIRS study (Symposium S-048: Near-Infrared Spectroscopy in Psychiatry -a New Noninvasive Technology to Monitor Brain Function in Bedside Settings), The 8th World Congress of Biological Psychiatry, Vienna, 2005.6.27.-7.3.

山岸裕, 亀山正樹, 佐藤利正, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 統合失調症における認知課題遂行時の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピによる検討. 第 27 回日本生物学的精神医学会, 大阪, 2005.7.6-8.

滝沢龍, 笠井清登, 沖本啓治, 川久保友紀, 山末英典, 福田正人, 加藤進昌: 統合失調症における認知課題施行時の脳血液量変化と臨床指標との関連—多チャンネル NIRS を用いた検討. 第 27 回日本生物学的精神医学会, 大阪, 2005.7.6-8.

武井雄一, 熊野澄江, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: 気分障害における注意機能の MEG 研究. 第 27 回日本生物学的精神医学会, 大阪, 2005.7.6-8.

亀山正樹, 山岸裕, 佐藤利正, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 気分障害の認知・運動課題中の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピによる検討. 第 27 回日本生物学的精神医学会, 大阪, 2005.7.6-8.

熊野澄江, 武井雄一, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: 気質と脳機能の関連についての MEG 研究. 第 27 回日本生物学的精神医学会, 大阪, 2005.7.6-8.

福田正人：世界生物学的精神医学会の NIRS シンポジウムー精神疾患への応用．第 27 回日本生物学的精神医学会，大阪，2005.7.6-8. (イブニングセミナー2)

福田正人：こころの病・脳・SST. 第 1 回 SST 初級研修会 (群馬 SST 広流会・基調講演)，前橋，2005.7.16.

武井雄一，熊野澄江，服部卓，上原徹，福田正人，笠井清登，三國雅彦：気質と脳機能の関連についての MEG 研究．第 20 回日本生体磁気学会，大阪，2005.7.21-22.

熊野澄江，武井雄一，服部卓，上原徹，福田正人，三國雅彦：気分障害における注意機能についての MEG 研究．第 20 回日本生体磁気学会，大阪，2005.7.21-22.

曾我明子，相原雅子，竹吉秀記，安藤直也，上原徹，間島竹彦，福田正人，三國雅彦：双胎妊娠・出産に際し多職種連携が奏功した双極性障害の一例．第■回群馬精神医学会，前橋，2005.7.23.

福田正人：指定発言：笠井清登「神経画像・生理指標を用いた統合失調症の脳病態研究」．第 4 回 Schizophrenia 研究会，東京，2005.9.23.

福田正人：検査による精神科診断にむけてクリアすべきこと (シンポジウム 1 DSM の弊害と問題点：10 年後 20 年後の精神科診断学を考える)．第 25 回 日本精神科診断学会，新潟，2005.9.29.

福田正人，井上かりん，三國雅彦：精神疾患の病状評価および向精神薬副作用評価における磁気センサ型指運動モニタ装置の可能性．新しい運動機能解析研究会，東京，2005.11.25.

福田正人：統合失調症の機能回復と脳機能評価 (シンポジウム・SST の効果を高めるためにー認知機能障害を克服する多角的アプローチ)，SST 普及協会第 10 回学術集会，福島，2005.11.26.

福田正人，上原徹，三國雅彦，井田逸朗：統合失調症の認知・情動障害と NIRS 所見 (シンポジウム 1・統合失調症にみられる情動障害をめぐってー認知神経科学的検討)，第 35 回日本臨床神経生理学会，福岡，2005.11.30.

丸茂浩平，滝沢龍，笠井清登，川久保友紀，山末英典，福田正人，加藤進昌：多チャンネル NIRS を用いた統合失調症患者における認知課題遂行時の脳血流変化と臨床指標との関連．第 35 回日本臨床神経生理学会，福岡，2005.11.30.

武井雄一，熊野澄江，服部卓，上原徹，福田正人，笠井清登，三國雅彦：脳磁図の mismatch 成分を用いた気分障害の注意機能についての検討．第 35 回日本臨床神経生理学学会，福岡，2005.11.30.

熊野澄江，武井雄一，服部卓，上原徹，福田正人，三國雅彦：気分障害における注意機能の MEG を用いた検討．第 35 回日本臨床神経生理学学会，福岡，2005.11.30.

山岸裕，亀山正樹，佐藤利正，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：統合失調症における認知課題時の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピによる検討．第 35 回日本臨床神経生理学学会，福岡，2005.11.30.

福田正人：医学関係の基礎と応用—精神科領域への応用．第 4 回 日本光脳機能イメージング研究会，京都，2005.12.10.

福田正人，大嶋明彦，間島竹彦，上原徹，三國雅彦：感情障害の診断・治療効果判定における NIRS の有用性の検討．厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 17 公-2 脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究 平成 17 年度研究報告会，東京，2005.12.14.

福田正人：NIRS による脳機能計測と認知症．技術研究組合医療福祉機器研究所 第 5 回 認知症勉強会，東京，2005.12.16.

大嶋明彦，福田正人，三國雅彦：精神病性うつ病の診断法・治療反応性予測・治療法の現状と改良に関する検討．厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 17 指-5 気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究 平成 17 年度研究報告会，東京，2005.12.14.

福田正人：脳機能にもとづくこころの病の診断—光トポグラフィー検査．第 222 回エヌ・ティー・エス セミナー：「ストレス評価」と「うつ早期発見」技術の開発，東京，2005.12.22.

■2004年■

福田正人：統合失調症における薬物治療と認知機能。第2回北関東甲信越精神医学懇話会，東京，2004.1.24.

Fukuda M, Ito M, Suto T, Kameyama M, Yamagishi Y, Uehara T, Ida I, Mikuni M : A Multichannel Near-Infrared Spectroscopy Study of Frontal Lobe Function in Schizophrenia and Mood Disorders (Symposium3: Novel comprehensive approaches to schizophrenia based on vulnerability stress model), International Congress of Biological Psychiatry, Official Pre Congress Meeting, Cairns, 2004.2.6.

福田正人：卒後研修における医療コミュニケーション教育の工夫－医学生教育の経験から－。群馬県統合失調症学術講演会，前橋，2004.3.12.

福田正人：精神疾患における光脳機能イメージングの可能性。第1回光脳機能イメージング研究会，東京，2004.3.20.

伊藤誠，須藤友博，亀山正樹，山岸裕，上原徹，福田正人，三國雅彦：認知課題遂行時の脳血流量変化に対する性・年齢の影響－多チャンネルNIRS装置による検討。第6回日本ヒト脳機能マッピング学会大会，東京，2004.3.21-22.

山岸裕，亀山正樹，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：うつ病患者の認知課題遂行時の脳血流量変化－近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討。第6回日本ヒト脳機能マッピング学会大会，東京，2004.3.21-22.

須藤友博，伊藤誠，亀山正樹，山岸裕，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：統合失調症における課題遂行時の局所脳血流量変化－多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーでの検討。第6回日本ヒト脳機能マッピング学会大会，東京，2004.3.21-22.

亀山正樹，山岸裕，須藤友博，伊藤誠，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：双極性障害の局所脳血流量変化－多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーによる検討。第6回日本ヒト脳機能マッピング学会大会，東京，2004.3.21-22.

Kameyama M, Yamagishi Y, Suto T, Itoh M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume changes during cognitive and motor activation in bipolar disorder: a multichannel near-infrared spectroscopy study. The 15th Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Chiba, 2004.4.11-14.

Suto T, Ito M, Kameyama M, Yamagishi Y, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M :

Multichannel near-infrared spectroscopy study in schizophrenia: a cognitive and motor activation study. The 15th Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Chiba, 2004.4.11-14.

Yamagishi Y, Kameyama M, Suto T, Itoh M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume changes during cognitive and motor tasks in depression: a near-infrared spectroscopy study. The 15th Congress of the International Society for Brain Electromagnetic Topography, Chiba, 2004.4.11-14.

Kameyama M, Suto T, Yamagishi Y, Ito M, Toru U, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume changes during cognitive and motor activation in bipolar disorder: a multichannel near-infrared spectroscopy study. The 59th Annual Meeting of Society of Biological Psychiatry, New York, 2004.4.29.-5.1.

Suto T, Ito M, Kameyama M, Yamagishi Y, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Multichannel near-infrared spectroscopy study in schizophrenia: a cognitive and motor activation study. The 59th Annual Meeting of Society of Biological Psychiatry, New York, 2004.4.29.-5.1.

Yamagishi Y, Kameyama M, Ito M, Suto T, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume changes during cognitive and motor tasks in patients with depression: a near-infrared spectroscopy study. The 59th Annual Meeting of Society of Biological Psychiatry, New York, 2004.4.29.-5.1.

福田正人：統合失調症の機能回復と脳機能評価. 第100回日本精神神経学会総会, 札幌, 2004.5.20-22.

山岸裕, 亀山正樹, 須藤友博, 伊藤誠, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦：統合失調症における局所脳血液量変化の特徴—多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピによる検討. 第100回日本精神神経学会総会, 札幌, 2004.5.20-22.

亀山正樹, 山岸裕, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦：気分障害の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピによる検討. 第100回日本精神神経学会総会, 札幌, 2004.5.20-22.

栗田澄江, 武井雄一, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦：Go/No-go課題における抑制過程のMEGを用いた検討. 第19回日本生体磁気学会, 徳島, 2004.6.4-5.

武井雄一, 栗田澄江, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦：Go/No-go課題による後部

頭部の MEG 反応について. 第 19 回日本生体磁気学会, 徳島, 2004.6.4-5.

Fukuda M, Uehara T, Ida I, Mikuni M : Near-infrared spectroscopy study of depression and bipolar disorder (Symposium 3B: Novel Approaches in the Treatment of Depression), 2004 WFSBP Asia-Pacific Congress, Seoul, 2004.7.9-11.

福田正人: 統合失調症の脳機能と近赤外線スペクトロスコピー (シンポジウム: 統合失調症の脳機能と形態) 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

亀山正樹, 山岸裕, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 気分障害の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーによる検討. 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

清野絵, 笠井清登, 山末英典, 山崎修道, 工藤紀子, 福田正人, 加藤進昌: 精神作業課題遂行とパーソナリティとの関連: 内田クレペリン検査と TCI を用いて. 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

山岸裕, 亀山正樹, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 統合失調症の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーによる検討. 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

栗田澄江, 武井雄一, 服部卓, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: Go/No-go 課題を用いた MEG 測定による判断・抑制過程の解析. 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

Rogers MA, 笠井清登, 沖本啓治, 桑原斉, 清野絵, 松尾幸治, 福田正人, 加藤進昌: Prefrontal activity during random number generation using NIRS. 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

沖本啓治, 笠井清登, 桑原斉, 松尾幸治, 清野絵, 福田正人, 加藤進昌: 光トポグラフィによる言語流暢性課題施行時の脳血流量変化の特徴—LFT と CFT の比較. 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

福田正人: NIRS の精神疾患診療への応用可能性 (ランチョン・セミナー). 第 26 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2004.7.21-23.

結城直也, 井田逸朗, 相原雅子, 熊野大志, 高橋啓介, 野崎裕介, 福田正人, 織内昇, 遠藤啓吾, 斉藤繁, 松田博史, 三國雅彦: 通電療法を施行した感情障害患者の視

床下部一下垂体一副腎皮質系機能変化と脳局所糖代謝変化部位の検討ー薬物療法が著効した患者群との比較ー. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

亀山正樹, 山岸裕, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 気分障害の局所脳血液量変化 -多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーによる検討ー. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

須藤友博, 伊藤誠, 亀山正樹, 山岸裕, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: うつ病、及び統合失調症患者における認知・運動課題遂行時の局所脳血流変化の特徴ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討ー. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

岡野美子, 安藤直也, 福田正人, 三國雅彦: 維持 ECT の適応についてー長期入院から退院へとつながった一例を通してー. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

石毛陽子, 安藤直也, 福田正人, 三國雅彦: フルボキサミンによると考えられた血小板減少症の症例. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

前原智之, 黒崎成男, 福田正人, 三國雅彦: 器質的な要因が疑われつつも特定できずにいる、著明な急性精神運動性興奮を来した壮年期男性の症例. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

須田真史, 竹吉秀記, 福田正人, 三國雅彦: 視床梗塞により人格変化と痴呆を呈した症例. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

曾我明子, 竹吉秀記, 福田正人, 三國雅彦: 抗精神病薬で著明な脳波異常を呈した頭部外傷後遺症の一例. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

大館美穂, 竹吉秀記, 福田正人, 三國雅彦: 少量ステロイドにより意識障害を呈した症例. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

牧野順一郎, 竹吉秀記, 福田正人, 三國雅彦: 精神科的介入が有効であった Prader-Willi 症候群の一例. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

成田秀幸, 須田真史, 大森一郎, 福田正人, 三國雅彦: 内科研修を終えて感じる研修必修化における精神科研修のあり方. 第 28 回群馬精神医学会, 前橋, 2004.7.24.

Fukuda M, Uehara T, Ida I, Mikuni M : Characteristics of frontal lobe function in depression, bipolar disorder, and posttraumatic stress disorder: a multichannel near-infrared spectroscopy

study (Symposium 07: Imaging of Emotional and Social Brain). The 27th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, Osaka, 2004.9.21.

Kumano S, Takei Y, Hattori S, Uehara T, Fukuda M, Mikuni M : Magnetoencephalographic study of frontal lobe function in stimulus processing and response inhibition using Go/No-go paradigm. The 8th International Evoked Potential Symposium, Fukuoka, 2004.10.5-8.

Takei Y, Kumano S, Hattori S, Uehara T, Fukuda M, Mikuni M : MEG study of occipital lobe function changes according to task demand using a visual Go/No-go paradigm. The 8th International Evoked Potential Symposium, Fukuoka, 2004.10.5-8.

福田正人：統合失調症における認知機能障害の回復と脳機能。第12回日本精神障害者リハビリテーション学会，前橋，2004.11.5-6.

福田正人：精神疾患の臨床検査としてのNIRS。第34回日本臨床神経生理学会学術大会，東京，2004.11.17-19.

熊野澄江，武井雄一，服部卓，上原徹，福田正人，三國雅彦：Go/No-go課題を用いたMEG測定による判断・抑制過程の解析。第34回日本臨床神経生理学会学術大会，東京，2004.11.17-19.

武井雄一，熊野澄江，服部卓，上原徹，福田正人，三國雅彦：Go/No-go課題による後頭部視覚反応の変化—MEG測定による検討。第34回日本臨床神経生理学会学術大会，東京，2004.11.17-19.

山岸裕，亀山正樹，佐藤利正，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：統合失調症における認知課題時の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーによる検討。第34回日本臨床神経生理学会学術大会，東京，2004.11.17-19.

亀山正樹，山岸裕，佐藤利正，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：気分障害の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピーによる検討。第34回日本臨床神経生理学会学術大会，東京，2004.11.17-19.

福田正人：高次精神機能を反映するNIRS信号をどうみるか。第2回光脳機能イメージング研究会，東京，2004.11.20.

山岸裕，亀山正樹，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦，伊藤誠，須藤友博：脳機能画像を用いた気分障害・統合失調症における向精神薬の薬効評価についての研究

—多チャンネル近赤外線スペクトロスコープによる認知課題遂行中の局所脳血液量変化の検討。第37回精神神経系薬物治療研究報告会，大阪，2004.12.10.

福田正人，三國雅彦，上原徹，井田逸朗：気分障害・統合失調症における前頭葉機能の賦活反応性と臨床症状・向精神薬の関連。厚生労働省精神・神経疾患研究委託費・精神疾患における脳の画像解析学的研究・平成16年度研究報告会，東京，2004.12.15.

■2003年■

福田正人：意図の伝達と言語の機能—近赤外線スペクトロスコピーによる精神疾患の言語機能の検討。平成14年度日本学術振興会科学研究費基盤研究・公開シンポジウム「意図の伝達スキル」，東京，2003.1.25.

木村貴宏，佐藤大仁，成田秀幸，大森一郎，宮田洋志，福田正人，三國雅彦：常用量の抗うつ薬・抗不安薬で軽度意識障害をきたした男性例。第67回東京精神医学会，東京，2003.3.1.

武井雄一，高橋啓介，青山義之，間島竹彦，福田正人，三國雅彦：非定型抗精神病薬 olanzapine および quetiapine 投与中における血糖値について。第67回東京精神医学会，東京，2003.3.1.

福田正人：NIRS イメージング—精神疾患への臨床応用の可能性。第5回日本ヒト脳機能マッピング学会大会，つくば，2003.3.16-18.

福田正人：ヒトの脳の特徴と脳が獲得したところの特徴。第26回日本医学会総会，福岡，2003.4.5.

亀山正樹，山岸裕，須藤友博，伊藤誠，滝沢龍，川上礼子，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：統合失調症における認知・実行課題遂行時の局所脳血液量変化—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピー装置を用いた検討。第25回日本生物学的精神医学会，金沢，2003.4.16-18.

伊藤誠，須藤友博，亀山正樹，山岸裕，川上礼子，滝沢龍，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：双極性障害患者における課題遂行中の局所脳血液量変化の動的特徴—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピー装置を用いた検討。第25回日本生物学的精神医学会，金沢，2003.4.16-18.

山岸裕，亀山正樹，伊藤誠，須藤友博，川上礼子，滝沢龍，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：うつ病患者の認知課題遂行時の脳血液量変化—近赤外線スペクトロスコピーを用いた検討。第25回日本生物学的精神医学会，金沢，2003.4.16-18.

須藤友博，伊藤誠，亀山正樹，山岸裕，滝沢龍，川上礼子，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：性別・年齢の局所脳血液量変化に対する影響—近赤外線スペクトロスコピー装置による精神疾患発病の背景についての予備的検討。第25回日本生物学的精神医学会，金沢，2003.4.16-18.

滝沢龍，川上礼子，伊藤誠，須藤友博，亀山正樹，山岸裕，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：前頭葉の脳活動の時間経過の特徴についての検討－近赤外線スペクトロスコピーによる健常者の working memory 測定．第 25 回日本生物学的精神医学会，金沢，2003.4.16-18.

結城直也，井田逸朗，相原雅子，熊野大志，野崎祐介，福田正人，織内昇，遠藤啓吾，西原文夫，斎藤繁，松田博史，三國雅彦：通電療法を施行した大うつ病性障害患者の神経内分泌機能と脳局所糖代謝変化の検討－薬物療法を施行した患者群との比較検討．第 25 回日本生物学的精神医学会，金沢，2003.4.16-18.

青山義之，岡野美子，志川葉子，大森一郎，福田正人，三國雅彦：節食障害に伴う低栄養にて橋中心髄鞘融解を呈した女性症例．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

酒井努，武井雄一，安藤直也，福田正人，宮本正典，豊田実，福田洋一郎，古屋信彦，三國雅彦：身体科での入院治療が困難であった末期癌の統合失調症患者の 1 例．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

志川葉子，宇都宮朋宏，森川昭廣，大森一郎，福田正人，三國雅彦：卒後臨床研修における精神科研修の義務化に向けて－3 か月間の研修を終えて小児科医の視点から．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

有賀道生，酒井努，安藤直也，斎藤忠，服部徳昭，福田正人，三國雅彦：緊張病様症状を呈し舌切断に至った発達障害が疑われる症例．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

田中毅，川本孝憲，野崎裕介，加部敬子，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：胎生期ストレス負荷ラットにおける海馬遺伝子の発現の変化．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

相原雅子，井田逸朗，間島竹彦，米村公江，福田正人，織内昇，遠藤啓吾，井上登美夫，松田博史，三國雅彦：海馬傍回は未治療大うつ病の HPA 系機能異常を反映する脳部位のひとつである：FDG-PET による検討．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

福田正人：精神疾患の診断・治療のための臨床検査を目指して．第 26 回群馬精神医学会，前橋，2003.6.21.

福田正人：統合失調症の認知機能障害と脳機能の特徴．第 2 回西中国精神医学懇話

会，山口，2003.7.5.

青山義之，岡野美子，志川葉子，大森一郎，福田正人，三國雅彦：摂食障害に伴う低栄養にて橋中心髄鞘融解を呈した女性症例．第 68 回東京精神医学会，東京，2003.7.5.

福田正人：NIRS の精神疾患への応用．慶應義塾大学 21 世紀 COE プログラムー第 2 回光トポグラフィ・シンポジウム，東京，2003.7.25.

福田正人：初発統合失調症と非定型抗精神病薬．メンタルクリニック全国研究会，東京，2003.7.27.

山岸裕，亀山正樹，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：うつ病患者の認知課題遂行時の局所脳血液量ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピによる検討．第 33 回日本臨床神経生理学会学術大会，2003.10.1-3.，旭川.

伊藤誠，須藤友博，亀山正樹，山岸裕，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：双極性障害における課題遂行時の局所脳血液量ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピを用いた検討．第 33 回日本臨床神経生理学会学術大会，2003.10.1-3.，旭川.

亀山正樹，山岸裕，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：認知課題遂行時の脳血液量変化に対する性差・加齢の影響ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピ装置による検討．第 33 回日本臨床神経生理学会学術大会，2003.10.1-3.，旭川.

沖本啓治，笠井清登，松尾幸治，上原徹，伊藤誠，須藤友博，亀山正樹，山岸裕，福田正人，桑原斉，加藤進昌：近赤外線スペクトロスコーピを用いた語流暢課題における前頭葉ヘモグロビン変化．第 33 回日本臨床神経生理学会学術大会，2003.10.1-3.，旭川.

須藤友博，伊藤誠，亀山正樹，山岸裕，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：統合失調症患者における認知・運動課題遂行時の局所脳血液量変化ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピを用いた検討．第 33 回日本臨床神経生理学会学術大会，2003.10.1-3.，旭川.

山岸裕，亀山正樹，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：統合失調症患者における局所脳血液量の変化ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコーピによる検討．第 23 回日本精神科診断学会，2003.10.30-31.，宇都宮.

亀山正樹，山岸裕，伊藤誠，須藤友博，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：単極性うつ病と双極性障害の脳血液量変化と診断ー多チャンネル近赤外線スペクトロスコー

ピーを用いた検討. 第 23 回日本精神科診断学会, 2003.10.30-31., 宇都宮.

福田正人: 近赤外分光法による精神疾患の診療支援技術. 文部科学省科学技術振興調整費産学官共同研究の効果的推進事業・公開シンポジウム「こころを映し出す DNA チップの開発と実用化」, 2003.11.7., 徳島.

福田正人: 近赤外線スペクトロスコープ-NIRS による脳機能計測. 第 24 回 日本レーザー医学会総会 (教育講演 3), 2003.11.15., 岐阜.

福田正人, 三國雅彦, 上原徹, 井田逸朗: 近赤外線スペクトロスコープを用いた気分障害・統合失調症における前頭葉機能の賦活反応性の特徴についての検討. 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費・精神疾患における脳の画像解析学的研究・平成 15 年度研究報告会, 2003.12.17., 東京.

福田正人: NIRS による精神疾患診療支援システムの構築. 光トポグラフィ・ユーザー研究会, 2003.12.19., 東京

■2002年■

工藤紀子, 荒木剛, 神尾聡, 古川俊一, 笠井清登, 福田倫明, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 選択的注意課題における talking の効果. 第23回事象関連電位(ERP)研究会, 東京, 2002.1.26.

毛呂佐代子, 宮田洋志, 赤田卓志朗, 菊地千一郎, 結城直也, 久保田文雄, 福田正人, 三國雅彦(2002)ゾテピンにより多彩な脳波所見を呈した一例. 第26回群馬てんかん懇話会, 前橋, 2002.2.16.

鈴木智広, 高橋啓介, 赤田卓志朗, 宮田洋志, 安藤直也, 菊地千一郎, 久保田文雄, 福田正人, 三國雅彦(2002)てんかん重積状態にミダゾラムが有効であった一成人例. 第26回群馬てんかん懇話会, 前橋, 2002.2.16.

有賀道生, 毛呂佐代子, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦(2002)摂食障害に対する解決指向的グループワークの試み. 第64回東京精神医学会, 所沢, 2002.3.2.

伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 精神分裂病患者における課題遂行中の局所脳血液量変化の時間的・空間的特徴—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピー装置を用いた検討. 第24回日本生物学的精神医学会, さいたま, 2002.4.10-12.

亀山正樹, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 精神疾患患者における認知・運動課題遂行時の局所脳血液量変化と診断—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピー装置を用いた検討. 第24回日本生物学的精神医学会, さいたま, 2002.4.10-12.

伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: うつ病患者と健常者における課題遂行時の脳血液量変化の比較—多チャンネル近赤外線スペクトロスコピー装置を用いた検討. 第24回日本生物学的精神医学会, さいたま, 2002.4.10-12.

荒木剛, 山末英典, 工藤紀子, 辻井和男, 神尾聡, 古川俊一, 笠井清登, 福田倫明, 岩波明, 植月美希, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 精神分裂病における事象関連電位・神経心理学的機能と脳の形態学的所見の関連. 第24回日本生物学的精神医学会, さいたま, 2002.4.10-12.

Kameyama M, Suto T, Ito M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Noninvasive Measurement of Cerebral Blood Volume Changes in Depression and Schizophrenia: A Multi-

channel Near-Infrared Spectroscopy Study. The eighth International Conference on Functional Mapping of the Human Brain, Sendai, 2002.6.2-6.

Suto T, Ito M, Kameyama M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : The temporal and topographical characteristics of cerebral blood volume change during a motor task: a 24-channel near-infrared spectroscopy study. The eighth International Conference on Functional Mapping of the Human Brain, Sendai, 2002.6.2-6.

Ito M, Suto T, Kameyama M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral Blood Volume Activation Pattern as Biological Substrate of Personality: A Multi-Channel Near-Infrared Spectroscopy Study in Healthy Subjects. The eighth International Conference on Functional Mapping of the Human Brain, Sendai, 2002.6.2-6.

井田逸朗, 相原雅子, 結城直也, 野崎裕介, 間島竹彦, 福田正人, 三國雅彦 : 感情障害における combined dexamethasone/CRH challenge test の検査成績と局所脳代謝所見の関連. 第2回精神科 CRH 研究会学術集会, 東京, 2002.6.7.

山岸裕, 武井雄一, 安藤直也, 福田正人, 三國雅彦 : 集中治療の早期導入により救命し得た悪性症候群の一例. 第24回群馬精神医学会, 前橋, 2002.6.22.

須藤友博, 伊藤誠, 亀山正樹, 山岸裕, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 : 精神疾患患者における認知・運動課題遂行時の局所脳血流量変化と診断—多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置を用いた検討. 第24回群馬精神医学会, 前橋, 2002.6.22.

川本孝憲, 間島竹彦, 井田逸朗, 福田正人, 武田純, 三國雅彦 : 双極性障害の発症脆弱性関連遺伝子における一塩基多型 (SNPs) を用いた関連研究. 第24回群馬精神医学会, 前橋, 2002.6.22.

相原雅子, 井田逸朗, 間島竹彦, 米村公江, 福田正人, 織内昇, 遠藤敬吾, 三國雅彦 : 大うつ病性障害の神経内分泌学および機能的脳画像所見. 第24回群馬精神医学会, 前橋, 2002.6.22.

成田秀幸, 杉山淳一, 上原徹, 安藤直也, 宮田洋志, 福田正人, 三國雅彦 : 精神科入院患者における尿路管理. 第65回東京精神医学会, 東京, 2002.7.13.

Ito M, Suto T, Kameyama M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume in schizophrenia: near-infrared spectroscopy study. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

Suto T, Ito M, Kameyama M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume in depression: near-infrared spectroscopy study. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

Uehara T, Suto T, Ito M, Kameyama M, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Cerebral blood volume changes in patients with eating disorders during word fluency: a preliminary near infrared spectroscopy study. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

Kameyama M, Suto T, Ito M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Psychiatric diagnosis by multi-channel near-infrared spectroscopy. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

Kasai K, Iwanami A, Kamio S, Nakagome K, Fukuda M, Kato N : Impaired automatic phoneme perception in schizophrenia. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

Kudo N, Araki T, Kasai K, Iwanami A, Nakagome K, Fukuda M : The effect of “talking” on ERPs in a dichotic discrimination task. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

Ito M, Suto T, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M : Brain blood volume activation as substrate of personality. XII World Congress of Psychiatry, Yokohama, 2002.8.24-29.

福田正人：光トポグラフィの精神疾患への臨床応用．光トポグラフィ研究，横浜，2002.8.27.

結城直也，井田逸朗，相原雅子，福田正人，織内昇，遠藤啓吾，松田博史，三國雅彦：通電療法（ECT）を施行した大うつ病性障害患者の糖代謝変化部位の検討－薬物療法を施行した患者群との比較検討．第32回日本神経精神薬理学会年会，前橋，2002.10.17-18.

相原雅子，井田逸朗，結城直也，福田正人，三國雅彦：通電療法（ECT）による大うつ病性障害患者の神経内分泌学的機能への影響について－薬物療法を受けた気分障害患者群との比較検討．第32回日本神経精神薬理学会年会，前橋，2002.10.17-18.

滝沢龍，川上礼子，伊藤誠，須藤友博，亀山正樹，山岸裕，上原徹，井田逸朗，福田正人，三國雅彦：数唱による脳血液量変化の特徴(1)－健常者における音読と黙読の比較．第9回医用近赤外線分光法研究会，東京，2002.11.9.

川上礼子, 滝沢龍, 伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 山岸裕, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 数唱による脳血液量変化の特徴(2)―課題施行の順序効果の検討. 第9回医用近赤外線分光法研究会, 東京, 2002.11.9.

山岸裕, 伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 川上礼子, 滝沢龍, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: NIRSによる精神疾患患者の脳血液量測定―手指タッピング課題・語流暢性課題時の脱酸素化 Hb 濃度変化の検討. 第9回医用近赤外線分光法研究会, 東京, 2002.11.9.

福田正人: 高次脳機能障害における NIRS―精神疾患の診断・治療における利用可能性. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

越田一郎, 伊藤憲治, 植月美希, 岩波明, 馬塚れい子, 福田正人, 丹羽真一: 言語理解と γ 波同期発振. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

亀山正樹, 伊藤誠, 須藤友博, 山岸裕, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 双極性障害における認知・運動課題遂行時の脳血液量変化―多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置による検討. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

前田恵子, 中込和幸, 笠井清登, 岩波明, 伊藤憲治, 越田一郎, 福田正人, 加藤進昌: 精神分裂病における事象関連電位と5年後のQOLとの関連性について. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

工藤紀子, 岩波明, 荒木剛, 笠井清登, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 聴覚性事象関連電位成分 N1,MMN,Nd,P3 に対する corollary discharge の効果. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

須藤友博, 伊藤誠, 亀山正樹, 山岸裕, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: うつ病患者と健常者における認知・運動課題遂行時の前頭部・側頭部での局所脳血液量変化の時間的・空間的特徴―多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置による検討. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 山岸裕, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: 精神分裂病患者における認知・運動課題遂行中の脳血液量変化の時間的・空間的特徴―多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置を用いた検討. 第32回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

笠井清登, 岩波明, 伊藤憲治, 越田一郎, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 健常成人

における純音性・音韻性 MMN の性差の検討. 第 32 回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

神尾聡, 加藤正人, 笠井清登, 工藤紀子, 岩波明, 加藤進昌, 湯本真人, 山田晴耕, 阿部修, 伊藤憲治, 越田一郎, 中込和幸, 福田正人, 山末英典: 聴覚性 N1m に対する binaural interaction の効果—全頭型 204 チャンネル脳磁図を用いた検討. 第 32 回日本臨床神経生理学会学術大会, 福島, 2002.11.13-15.

福田正人: プライマリ・ケアと精神疾患. 第 2 回群馬 CNS 治療研究会, 前橋, 2002.11.22.

福田正人, 三國雅彦, 井田逸朗, 上原 徹: 気分障害・統合失調症における脳血液量変化の動的特徴—多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置を用いた検討. 平成 14 年度 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費 研究報告会, 東京, 2002.12.18.

武井雄一, 高橋啓介, 青山義之, 間島竹彦, 福田正人, 三國雅彦: 非定型抗精神病薬 オランザピンおよびクエチアピン投与中の血糖値について. 第 25 回群馬精神医学会, 前橋, 2002.12.21.

桜井剛志, 安藤直也, 宮田洋志, 福田正人, 三國雅彦, 宮本正典: 総合病院で経験したステロイド精神病の 1 例. 第 25 回群馬精神医学会, 前橋, 2002.12.21.

木村貴宏, 佐藤大二, 成田秀幸, 大森一郎, 福田正人, 三國雅彦: 常用量の抗うつ薬・抗不安薬で軽度意識障害をきたした男性例. 第 25 回群馬精神医学会, 前橋, 2002.12.21.

■2001年■

大森一郎, 柴田信義, 赤田卓志朗, 菊地千一郎, 福田正人, 三国雅彦 (2001) Carbamazepine の副作用により知覚音が低下した 1 例. 第 25 回群馬てんかん懇話会, 前橋, 2001.2.24.

Suto T, Ito M, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M (2001) Temporal and topographical characteristics of cortical blood flow change during finger tapping task measured with near-infrared spectroscopy (NIRS). The 12th World Congress of International Society for Brain Electromagnetic Topography, Utsunomiya, 2001.3.8-10.

Ito M, Suto T, Uehara T, Ida I, Fukuda M, Mikuni M (2001) Temporal characteristics of cortical blood flow activation pattern as biological substrates of temperament: a near-infrared spectroscopy study. The 12th World Congress of International Society for Brain Electromagnetic Topography, Utsunomiya, 2001.3.8-10.

Araki T, Iwanami A, Kato N, Kasai K, Kamio S, Furukawa S, Uetsuki M, Fukuda R, Fukuda M, Nakagome K, Okajima Y, Isono H, Kamijima K (2001) P300 amplitude over temporal regions in schizophrenia. The 12th World Congress of International Society for Brain Electromagnetic Topography, Utsunomiya, 2001.3.8-10.

Iwanami A, Araki T, Otani T, Furukawa S, Kamio S, Fukuda R, Kasai K, Nakagome K, Fukuda M, Kato N (2001) P300 and thought disorder in schizophrenia. The 56th Annual Meeting of Society of Biological Psychiatry. 2001.5.3-5.

福田正人, 上原徹, 井田逸朗, 三国雅彦 (2001) 強迫特性を示す精神疾患患者に対する抗うつ薬の効果. 第 5 回群馬精神薬理研究会, 前橋, 2001.6.1.

新谷宏伸, 赤田卓志朗, 花岡直木, 村上順平, 福田正人, 三国雅彦 (2001) 薬物療法が困難な分裂感情障害症例に対する間欠的 ECT 療法. 第 22 回群馬精神医学会, 前橋, 2001.6.23.

岩波明, 荒木剛, 植月美希, 神尾聡, 古川俊一, 笠井清登, 福田倫明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌 (2001) 精神分裂病の P300—神経心理学的機能・薬物療法との関連. 第 4 回日本薬物脳波学会, 旭川, 2001.7.12-13.

野崎裕介, 赤田卓志朗, 井田逸朗, 福田正人, 三国雅彦 (2001) 大学病院精神科の入院患者における心的外傷 (トラウマ) についての調査研究. 第 62 回東京精神医学会, 東京, 2001.7.14.

Aihara M, Ida I, Majima T, Yonemura K, Fukuda M, Oriuchi N, Inoue T, Endo K, Mikuni M (2001) Functional brain imaging study on dysfunction of HPA axis in patients with major depression, estimated by combined dexamethasone/CRH challenge test. 2001 Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologicum (CINP) Regional Meeting Hiroshima, Japan, 2001.10.2-5, Hiroshima

伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 局所脳血液量変化パターンによる気質の脳機能診断の可能性—光トポグラフィーを用いた検討. 第 21 回日本精神科診断学会, 富山, 2001.10.19-20.

相原雅子, 井田逸朗, 間島竹彦, 米村公子, 福田正人, 織内昇, 井上登美夫, 遠藤啓吾, 松田博史, 三國雅彦 (2001) 気分障害患者における神経内分泌機能および脳局所代謝の縦断的検討—前頭皮質および海馬機能との関連. 第 10 回海馬と高次脳機能学会, 前橋, 2001.11.3-4.

神尾聡, 岩波明, 加藤進昌, 笠井清登, 湯本真人, 阿部修, 伊藤憲治, 古川俊一, 中込和幸 (2001) 高解像度脳磁図 (MEG) を用いた精神分裂病患者の幻聴と雑音・疑似音声の処理過程の検討. 第 31 回日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2001.11.7~9.

須藤友博, 伊藤誠, 亀山正樹, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 手指運動による局所脳血液量変化の時間経過の特徴—多チャンネル近赤外線分光測定装置を用いた検討. 第 31 回日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2001.11.7~9.

古川俊一, 笠井清登, 伊藤憲治, 越田一郎, 神尾聡, 荒木剛, 村上忠, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌 (2001) 高解像度脳波計測システムによる P300 成分のトポグラフィー第 2 報. 第 31 回日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2001.11.7~9.

越田一郎, 伊藤憲治, 岩波明, 湯本真人, 笠井清登, 中込和幸, 福田正人, 平松謙一, 丹羽真一 (2001) 相関解析を用いた言語認知活動の解析. 第 31 回日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2001.11.7~9.

川久保友紀, 笠井清登, 神尾聡, 古川俊一, 荒木剛, 岡崎慎治, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 伊藤憲治, 加藤進昌, 越田一郎 (2001) 高解像度脳波計を用いた純音性・言語性 MMN の再現性. 第 31 回日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2001.11.7~9.

荒木剛, 神尾聡, 古川俊一, 笠井清登, 福田倫明, 岩波明, 福田正人, 加藤進昌 (2001) 選択的注意課題における corollary discharge の検討. 第 31 回日本臨床神経生理学会学術大会, 東京, 2001.11.7~9.

亀山正樹, 伊藤誠, 須藤友博, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 精神疾患患者における課題遂行時の脳血液量変化の特徴—多チャンネル近赤外線スペクトロスコープを用いた検討. 第8回医用赤外線分光法研究会, 大阪, 2001.11.22.

須藤友博, 伊藤誠, 亀山正樹, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 手指タッピングによる局所脳血液量変化の経時的特徴—多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置を用いた検討. 第8回医用赤外線分光法研究会, 大阪, 2001.11.22.

伊藤誠, 須藤友博, 亀山正樹, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 手指タッピング時の脳血液量変化と人格特性との関連—多チャンネル近赤外線スペクトロスコープ装置を用いた検討. 第8回医用赤外線分光法研究会, 大阪, 2001.11.22.

森田善晴, 杉山淳一, 毛呂佐代子, 山岸裕, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 摂食障害における強迫とジェンダーアイデンティティの問題—治療経過からの考察. 第23回群馬精神医学会, 前橋, 2001.12.1.

毛呂佐代子, 杉山淳一, 山岸裕, 森田善晴, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 摂食障害に対する行動制限療法の実際—治療経過の検討から. 第23回群馬精神医学会, 前橋, 2001.12.1.

結城直也, 花岡直木, 宮田洋志, 上原徹, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦 (2001) パルス波電気けいれん療法によって改善したうつ病の一例—従来型サイン波治療器との比較. 第6回群馬県 CNS 疾患治療研究会, 前橋, 2001.11.30.

森田善晴, 杉山淳一, 毛呂佐代子, 山岸裕, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 摂食障害における強迫とジェンダーアイデンティティの問題—治療経過からの考察. 第23回群馬精神医学会, 前橋, 2001.12.1.

毛呂佐代子, 杉山淳一, 山岸裕, 森田善晴, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦 (2001) 摂食障害に対する行動制限療法の実際—治療経過の検討から. 第23回群馬精神医学会, 前橋, 2001.12.1.

相原雅子, 井田逸朗, 間島竹彦, 米村公江, 福田正人, 織内昇, 井上登美夫, 遠藤啓吾, 松田博史, 三國雅彦 (2001) 気分障害における神経内分泌機能および脳局所代謝機能異常の縦断的研究—デキサメサゾン/CRH 負荷検査および FDG-PET を指標として. 第34回精神神経系薬物治療研究報告会, 東京, 2001.12.7.

■2000年■

神尾聡, 本多真, 中込和幸, 村上忠, 平松謙一, 笠井清登, 岩波明, 畑哲信, 加藤進昌, 渡辺明, 福田正人 (2000) 選択的注意課題による ERP を用いた精神分裂病の情報処理抑制系についての検討. 第 21 回事象関連電位 (ERP) 研究会, 東京, 2000.1.22.

南茂, 宮田洋志, 福田正人, 三國雅彦: Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome (RPLS) を呈した steroid psychosis の 1 例. 第 58 回 東京精神医学会学術集会, 東京, 2000.2.26.

須藤友博, 赤田卓志朗, 井田逸朗, 米村公江, 小林寧, 福田正人, 三國雅彦: 悪性腫瘍に併発するうつ病の発病機序—症状出現の時間関係についての予備的検討. 第 22 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2000.3.30.~4.1.

相原雅子, 井田逸朗, 織内昇, 間島竹彦, 米村公江, 富吉勝美, 井上登美夫, 遠藤啓吾, 福田正人, 三國雅彦: 大うつ病症状を呈する癌患者における神経内分泌学的機能および脳内代謝の検討. 第 22 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2000.3.30.~4.1.

川本孝憲, 武田純, 桜井敬子, 井田逸朗, 福田正人, 三國雅彦: WFS1 遺伝子は気分障害の発症関連遺伝子か? 第 22 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2000.3.30.~4.1.

松尾幸治, 加藤忠史, 福田正人, 加藤進昌: 近赤外スペクトロスコープを用いた高齢うつ病の左前頭葉におけるヘモグロビン酸化状態の変化. 第 22 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2000.3.30.~4.1.

笠井清登, 神尾聡, 渡辺明, 村上忠, 畑哲信, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 全頭型 122ch 脳磁図を用いた精神分裂病における純音性・言語性 MMN の障害. 第 22 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2000.3.30.~4.1.

渡辺明, 笠井清登, 神尾聡, 村上忠, 舩松克代, 浅井久栄, 畑哲信, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 精神分裂病患者の言語性記憶と手続き記憶—健常者との比較および精神症状との関連. 第 22 回日本生物学的精神医学会, 東京, 2000.3.30.~4.1.

笠井清登, 山田晴耕, 湯本真人, 神尾聡, 伊藤憲治, 越田一郎, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌: 精神分裂病のミスマッチ陰性電位 (MMN) に対する抗不安薬・睡眠薬の影響—高解像度事象関連電位・脳磁場計測による検討—. 第 3 回日本薬物脳波学会, 秋田, 2000.4.21.

伊藤誠, 赤田卓志朗, 服部卓, 久保田文雄, 宮本正典, 福田正人, 三國雅彦. 律動性

運動障害に clonazepam が有効であった思春期症例. 第 20 回群馬精神医学会, 前橋, 2000.6.3.

林朗子, 赤田卓志朗, 大森一郎, 米村公江, 福田正人, 三國雅彦: 光線療法が著効した睡眠覚醒障害の 1 例. 第 20 回群馬精神医学会, 前橋, 2000.6.3.

須藤友博, 井田逸朗, 赤田卓志朗, 米村公江, 小林寧, 原秀之, 福田正人, 三國雅彦. 悪性腫瘍に併発するうつ病の発生機序—症状出現の時間的關係についての予備的検討. 第 20 回群馬精神医学会, 前橋, 2000.6.3.

Kamio S, Kasai K, Nakagome K, Yamada H, Yumoto M, Itoh K, Koshida I, Watanabe A, Murakami T, Furukawa S, Iwanami A, Fukuda M, Kato N. Neuromagnetic recording of tonal versus verbal mismatch negativity (MMNm) in schizophrenia. The 2nd International Congress on Mismatch Negativity and its Clinical Applications, Barcelona, 15-18 Jun 2000.

Nakagome K, Kasai K, Kamio S, Takazawa S., Itoh K, Koshida I, Watanabe A, Murakami T, Furukawa S, Iwanami A, Fukuda M, Kato N. High-density (128 ch) recording of tonal versus verbal mismatch negativity (MMNm) in schizophrenia. The 2nd International Congress on Mismatch Negativity and its Clinical Applications, Barcelona, 15-18 Jun 2000 (Symposium).

福田正人: 精神科診断の生物学的指標. 第 20 回日本精神科診断学会, 福島, 2000.10.13-14.

大森一郎, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦, 川嶋義章, 後藤雅博: 摂食障害の類型・経過と家族機能に関する予備的検討. 第 20 回日本精神科診断学会, 福島, 2000.10.13-14.

新谷宏伸, 村上順平, 結城直也, 赤田卓志朗, 福田正人, 三國雅彦: 薬物療法が困難な非定型精神病症例に対する間欠的 ECT 療法. 第 60 回東京精神医学会, 東京, 2000.11.11.

山岸裕, 柴田信義, 毛呂佐代子, 福田正人, 三國雅彦: メタノール飲用による脳器質性精神障害の 1 例. 第 60 回東京精神医学会, 東京, 2000.11.11.

林朗子, 赤田卓志朗, 大森一郎, 米村公江, 福田正人, 三國雅彦: 高照度光療法が著効した睡眠覚醒リズム障害の 1 例—生物時計の指標を中心に—. 第 60 回東京精神医学会, 東京, 2000.11.11.

福田正人: 精神分裂病の認知障害になぜ注目するのか? 第 64 回日本心理学会 ワークショップ「精神分裂病の認知障害の臨床」, 京都, 2000.11.7.

須藤友博, 伊藤誠, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: Finger tapping による局所脳血流変化のパターン分類—多チャンネル NIRS を用いた時間・空間的特徴の検討. 第 7 回医用近赤外線分光法研究会, 甲府, 2000.11.10.

伊藤誠, 赤田卓志朗, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: フルボキサミンによる精神症状増悪の特徴. 第 10 回日本臨床精神神経薬理学会, 東京, 2000.11.15~16.

伊藤誠, 赤田卓志朗, 上原徹, 福田正人, 三國雅彦: フルボキサミンによる精神症状増悪の特徴. 第 4 回群馬精神薬理研究会, 前橋, 2000.11.17.

結城直也, 柴田信義, 松本武士, 赤田卓志朗, 福田正人, 三國雅彦: 前交通動脈の脳動脈瘤を合併する難治性うつ病患者に対する電気痙攣療法の経験. 第 5 回群馬県 CNS 疾患治療研究会, 前橋, 2000.11.22.

山岸裕, 柴田信義, 毛呂佐代子, 福田正人, 三國雅彦: メタノール中毒の急性症状改善後にみられた精神症状と脳画像の比較. 第 5 回群馬県 CNS 疾患治療研究会, 前橋, 2000.11.22.

Iwanami A, Kato N, Kasai K, Kamio S, Furukawa M, Fukuda M, Nakagome K, Okajima Y, Isono H, Kamijima K: P300 amplitude over temporal regions in schizophrenia: an investigation using Japanese subjects. The 10th Congress of the Association of European Psychiatrists, 2000.10.
(European Psychiatry 15 suppl 2:420s, 2000)

Iwanami A, Okajima, Isono H, Shinoda J, Kasai K, Hata A, Fukuda M, Nakagome K, Kamijima K: Effects of risperidone on event-related potentials in schizophrenia: a topographical study. CINP 2000.7.
(The International Journal of Neuropsychopharmacology 3 suppl 1:s157, 2000)

結城直也, 柴田信義, 松本武士, 赤田卓志朗, 福田正人, 三國雅彦: 脳動脈瘤を合併する難治性うつ病患者に対する電気痙攣療法施行の経験. 第 13 回日本総合病院精神医学会, 東京, 2000.11.30.~12.1.

須藤友博, 井田逸朗, 赤田卓志朗, 米村公江, 小林寧, 福田正人, 三國雅彦: 悪性腫瘍に併発するうつ病の発生病序—症状出現の時間的關係についての予備的検討. 第 13 回日本総合病院精神医学会, 東京, 2000.11.30.~12.1.

■1999年■

Kasai K, Nakagome K, Itoh K, Koshida I, Watanabe A, Kamio S, Murakami T, Hata A, Hashimoto O, Nagakubo S, Iwanami A, Fukuda M, Kato N (1999) High-density (128ch) recording of tonal versus verbal mismatch negativity in schizophrenia and correlates of memory functioning. 10th World Congress of International Society of Brain Electromagnetic Topography (Australia) 1999.10.8.-15.

Iwanami A, Okajima Y, Shinoda J, Isono H, Kasai K, Fukuda M, Nakagome K, Kamijima K. The effect of risperidone on event-related potentials in schizophrenic patients. The 9th Scientific Meeting of the Pacific Rim College of Psychiatrists. Seoul, Korea, 4 Oct, 1999.

神尾聡, 村上忠, 渡辺明, 笠井清登, 畑哲信, 橋本大彦, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 平松謙一, 加藤進昌 (1999) 精神分裂病患者における抗不安薬の事象関連電位 (PN) に及ぼす影響. 第**回薬物脳波学会 (沖縄) 1999.6.*.

村上忠, 神尾聡, 渡辺明, 笠井清登, 畑哲信, 橋本大彦, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 平松謙一, 加藤進昌 (1999) 精神分裂病患者における抗不安薬の事象関連電位 (N2b) に及ぼす影響. 第**回薬物脳波学会 (沖縄) 1999.6.*.

渡辺明, 笠井清登, 舩松克代, 浅井久栄, 神尾聡, 村上忠, 大野孝浩, 畑哲信, 岩波明, 中込和幸, 福田正人, 加藤進昌 (1999) デイ・ホスピタル通院患者の記憶機能—治療的接近への示唆. 第56回東京精神医学会 (東京) 1999.7.10.

南茂, 宮田洋志, 福田正人, 三國雅彦 (1999) Reversible Posterior Leukoencephalopathy Syndrome (RPLS) を呈した steroid psychosis の1例. 第19回群馬精神医学会 (群馬) 1999.6.5.

松尾幸治, 加藤忠史, 福田正人, 加藤進昌 (1999) 近赤外線分光法 (near-infrared spectroscopy) を用いた認知課題および生理的課題施行中の前頭葉ヘモグロビン酸化状態の変化. 第21回日本生物学的精神医学会 (仙台) 1999.4.21-23.

中村亮介, 黒木規臣, 入谷修司, 岩波明, 福田正人 (1999) 慢性分裂病患者の血漿モノアミン代謝産物濃度. 第21回日本生物学的精神医学会 (仙台) 1999.4.21-23.

笠井清登, 中込和幸, 伊藤憲治, 越田一郎, 舩松克代, 大野孝浩, 畑哲信, 橋本大彦, 福田正人, 平松謙一, 加藤進昌 (1999) 高解像度 ERP を用いた精神分裂病の言語性 MMN と前頭葉機能との関連. 第21回日本生物学的精神医学会 (仙台) 1999.4.21-23.

南茂, 宮田洋志, 福田正人, 三國雅彦 (1999) Reversible Posterior Leukoencephalopathy Syndrome (RPLS) を呈した steroid psychosis の 1 例. 第 4 回 群馬県 CNS 疾患治療研究会 (群馬) 1999.11.4.

越田一郎, 伊藤憲治, 笠井清登, 畑哲信, 岩波明, 湯本真人, 中込和幸, 福田正人, 平松謙一, 丹羽真一 (1999) 脳機能情報グループ化のための相関情報マッピング法. 第 29 回日本脳波・筋電図学会 (東京) 1999.11.10.~12.

笠井清登, 村上忠, 畑哲信, 橋本大彦, 岩波明, 加藤進昌, 湯本真人, 山田晴耕, 伊藤憲治, 越田一郎, 渡辺明, 神尾聡, 中込和幸, 福田正人 (1999) 高解像度脳波計を用いた精神分裂病における純音性・言語性 MMN の検討. 第 29 回日本脳波・筋電図学会 (東京) 1999.11.10.~12.

神尾聡, 笠井清登, 村上忠, 畑哲信, 橋本大彦, 岩波明, 加藤進昌, 湯本真人, 山田晴耕, 伊藤憲治, 越田一郎, 渡辺明, 中込和幸, 福田正人 (1999) 高解像度脳磁図による純音性・言語性 MMNm の半球優位性の検討. 第 29 回日本脳波・筋電図学会 (東京) 1999.11.10.~12.

福田正人, 赤田卓志朗, 三國雅彦 (1999) フルボキサミンによる精神症状の増悪一群大病院精神科入院患者での経験からの印象. 第 2 回群馬精神薬理研究会 (前橋) 1999.11.19.

■1998年■

笠井清登、畑哲信、福田正人、加藤進昌、中込和幸、伊藤憲治、越田一郎（1998）高解像度脳波計測システムによる ERP 成分のトポグラフィの検討. 第 12 回臨床精神生理研究会（東京） 1998.11.21.

笠井清登、畑哲信、福田正人、中込和幸、平松謙一、伊藤憲治、越田一郎（1998）多チャンネル（128ch）脳波計による Nd の頭皮上分布の検討（第 2 報）. 第 28 回日本脳波・筋電図学会学術大会（神戸） 1998.11.11-13.

笠井清登、畑哲信、福田正人、中込和幸、平松謙一、伊藤憲治、越田一郎（1998）多チャンネル（128ch）脳波計による MMN の頭皮上分布の検討（第 2 報）. 第 28 回日本脳波・筋電図学会学術大会（神戸） 1998.11.11-13.

越田一郎、伊藤憲治、笠井清登、畑哲信、福田正人、湯本真人、中込和幸、平松謙一、丹羽真一（1998）多成分相関情報解析表示システム. 第 28 回日本脳波・筋電図学会学術大会（神戸） 1998.11.11-13.

山田安彦、福田正人、大野能之、高柳理早、他（1998）リスペリドンとハロペリドールによる錐体外路系副作用のドパミン D₂ レセプター結合占有を基にした解析と予測. 第 28 回日本神経精神薬理学会（東京） 1998.10.21-23.

Kasai K, Nakagome K, Hata A, Fukuda M, Itoh K, Koshida I, Hiramatsu K: Spline laplacian estimate of mismatch negativity using multichannel EEG system (128ch). The 12th International Conference on event-related potentials of the brain, Boston, USA, 21 July, 1998.

■1997年■

笠井清登, 岡沢和昭, 中込和幸, 平松謙一, 畑哲信, 福田正人: 精神分裂病患者における注意関連電位 (MMN, Nd) の検討. 第19回日本生物学的精神医学会, 大阪, 1997.3.28.

Nakagome K, Kasai K, Fukuda M, Hata A, Hiramatsu K, Itoh K, Takazawa S, Kanno O: Scalp current density mappings of Nd and MMN in schizophrenic patients. The 3rd Pan-Pacific Conference on Brain Topography, Tokyo, Japan, 1997.4.3.

笠井清登, 中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一, 松下正明, 伊藤憲治, 越田一郎: 多チャンネル (128ch) 脳波計による Nd の頭皮上分布の検討. 第27回日本脳波・筋電図学会, 福岡, 1997.11.20.

中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一, 松下正明, 笠井清登, 伊藤憲治, 越田一郎: 多チャンネル (128ch) 脳波計による MMN の頭皮上分布の検討. 第27回日本脳波・筋電図学会, 福岡, 1997.11.20.

笠井清登, 中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一, 松下正明, 伊藤憲治, 越田一郎: 多チャンネル (128ch) 脳波計による MMN の頭皮上分布の検討. 第27回日本脳波・筋電図学会, 福岡, 1997年11月20日

越田一郎, 伊藤憲治, 中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一, 湯本真人, 笠井清登, 丹羽真一: 多チャンネル EEG 計測・解析システムによる ERP 計測と視覚化. 第27回日本脳波・筋電図学会, 福岡, 1997.11.20.

笠井清登, 中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一, 松下正明: 精神分裂病患者の注意機能に対する向精神薬の影響—事象関連電位を用いて. 第30回精神薬療基金報告会, 東京, 1997.12.5.

笠井清登, 岡沢和昭, 中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一, 松下正明: 精神分裂病患者における Mismatch Negativity の向精神薬服用量による影響. 第7回日本薬物脳波研究会, 横浜, 1997.6.7.

笠井清登, 岡沢和昭, 中込和幸, 畑哲信, 福田正人, 平松謙一: 精神分裂病患者における注意機能の検討—事象関連電位成分 (MMN・Nd) と持続遂行課題 (CPT) を用いて. 第23回性格・行動と脳波研究会, 宮崎, 1997.7.17.